

2020 年度
法政大学大学院デザイン工学研究科
履 修 ガ イ ド

法政大学大学院デザイン工学研究科
Graduate School of Engineering and Design
Hosei University
Tokyo, Japan

【大学院】2020年度(令和2)カレンダー

- ... 通常授業日
- ... 補講日
- ... 補講日兼授業日
- 「 ... 各期の区切り
- ... セッション (サマー・オータム・スプリング)
- ... 休み、休講

4月

Apr.

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

May

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

June

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

July

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

Aug.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

Sept.

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

Oct.

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

Nov.

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

Dec.

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月

Jan.

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

Feb.

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

Mar.

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2020（令和2）年度 学年暦（デザイン工学研究科）

デザイン工学部	
学年開始	4月 1日(水)
入学式	4月 3日(金)
春学期前半（A期）授業期間	4月 7日(火)～5月29日(金)
春学期前半（A期）補講日	授業期間内補講日：5月 9日(土) 5月16日(土) 5月23日(土)
春学期後半（B期）授業期間	5月30日(土)～7月17日(金)
春学期後半（B期）補講日	授業期間内補講日：6月27日(土) 7月 4日(土) 7月11日(土)
春学期補講日（期間）	7月18日(土)～7月31日(金)
夏季休業期間	8月 1日(土)～9月17日(木)
夏季集中 特別授業期間	サマーセッション：8月 1日(土)～8月 7日(金) オータムセッション：9月11日(金)～9月17日(木)
9月卒業学位記交付式 秋学期入学式	9月12日（土）
秋学期前半（C期）授業期間	9月18日(金)～11月12日(木) ※ 11月 9日（月）を除く
秋学期前半（C期）補講日	授業期間内補講日：10月10日(土) 10月17日(土) 10月24日(土)
秋学期後半（D期）授業期間	11月 9日（月），11月13日(金)～12月24日(木) 1月 8日(金)～1月18日(月)
秋学期後半（D期）補講日	授業期間内補講日：12月12日(土) 12月19日(土)
冬季休業期間	12月25日(金)～1月7日(木)
秋学期補講日（期間）	1月19日(火)～1月23日(土)
春季休業期間	2月 2日(火)～3月31日(水)
春季集中 特別授業期間	スプリングセッション：3月9日(火)～3月22日(月)
学位授与式	3月24日(水)
学年終了	3月31日(水)

〔デザイン工学研究科〕

- ・4月10日(金)創立記念日は5月1日(金)に振替
- ・4月30日(木)はレクリエーションデーにより休講
- ・5月1日(金)は創立記念日の振替により休講
- ・5月4日(月)みどりの日，5月6日(水)憲法記念日の振替休日，9月21日(月)敬老の日，9月22日(火)秋分の日は授業実施
- ・4月29日(水)昭和の日，5月5日(火)こどもの日，7月23日(木)海の日(木)の振替休日，7月24日（金）スポーツの日，11月3日（火）文化の日，11月23日（月）勤労感謝の日，1月11日(月)成人の日は授業を実施しない
- ・11月4日（水）は大学祭準備日，11月5日（木），11月6日（金），11月7日（土）は大学祭により休講
- ・1月15日（金）は大学入学共通テスト準備，1月16日（土）は大学入学共通テスト実施により休講
- ・春季集中特別授業期間中の3月20日(土)春分の日(土)は特別授業実施日とする

授業時間	
1時限	8:50～10:30
2時限	10:40～12:20
昼休み	
3時限	13:00～14:40
4時限	15:00～16:40
5時限	16:50～18:30
6時限	18:35～20:15

スキルアップの時間

大学院デザイン工学研究科長 溝渕 利明

働き方改革関連法が施行されてちょうど1年が経過します。これまで日本人は、勤勉でよく働く国民であると諸外国から言われる一方で、年がら年中働いているワーカホリック (Workaholic : 仕事中毒)だと揶揄されることもありました。今から30年以上前、テレビの栄養ドリンクのCMでは”24時間働けますか?” というキャッチフレーズがあったほどです。企業戦士などともいわれ、時間を惜しんで働くことが美德とされてきました。その一方で、過剰労働による過労死やサービス残業、パワハラなどのブラック企業が横行していたのも事実です。そのような中、2015年に広告最大手の会社で過剰労働による自殺が大きな社会問題となり、この事件がきっかけとなって、2018年6月に「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(働き方改革関連法)」が可決・成立し、翌年の4月から施行されました。これによって、多くの働く人たちのワークバランスが見直されるようになったのです。

これまでは、ある仕事をある期限までに仕上げるために、勤務時間内だけでは収まらない分を多くの残業時間を費やして行っていたのですが、今は働き方改革によって仕事にかかるマンパワー(総時間数もしくは人工)の制限が加わることになったのです。そのため、仕事の効率化、省力化を推進し、無駄をなくす努力が図られるようになりました。一見すると素晴らしい働き方のように見えますが、社会にとってこのような仕事のやり方を行っていくためには、高いスキルを持った人材が多く必要になってきます。仕事の要領が悪く、時間ばかりかかる人材は極論をいえばいらぬこととなります。また、単純労働は自動化やロボット化が進むでしょうから、スキルを持つ人と持たない人の差別化がより一層明確になっていくようになります。

では、どのように高いスキルを身に付けていくのかということになります。これまでは、社会に出て、企業などの研修やOJT(On the Job Training)のような仕事をしながらスキルアップしていく方法が採られてきましたが、今は企業などにその余裕もなく、自らスキルアップ(自己研鑽)していく必要があります。他方、大学の4年間で十分なスキルを持つことが可能かといえ、基礎知識の習得程度しかできず、とても高いスキルを持った人材の育成にまでは至っていません。

今、皆さんは大学院に在学している間に高いスキルを持った人材を目指すことだと思います。デザイン工学研究科は、高いスキルを得るために必要な教育環境、研究環境を備えた研究科といえます。本研究科は、いろいろなスキルアップのために学部では得られない高度な教育課程を有する修士および博士後期課程を設けています。スキルアップのためには、(1) 企画・立案能力、(2) デザイン能力、(3) 問題解決能力、(4) 職業的倫理、(5) 歴史と文化への理解、(6) 地球環境への理解、(7) 表現・伝達能力を身に付ける必要があります。それを具現化するために、各専攻では実践的で革新的なカリキュラムを用意しています。皆さんは、それを身に付けて、差別化された能力(スキル)を社会に出て発揮していただきたいと思います。本研究科を修了した皆さんこそ、これからの社会を生き抜く高いスキルを持った人材になっていると思っています。この貴重な期間を最大限に生かしてスキルアップする時間としていってください。

2020年4月

— デザイン工学研究科の3つのポリシー —

学生の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

デザイン工学研究科は、デザイン工学に関わる専門職業人と高度な研究能力を有する研究者の養成を目指している。これを達成するためには、入学者が学部段階で獲得しておくべき基礎的な学力が問われる。一方、建設や製造に関わる現場環境並びに業態が多様化し、国際化している現代にあつては、専門分野に特化した人材以外に、多様な教育履歴を有する幅広い人材が必要とされている。また、急速に進む技術革新に適応するためには社会人に対するリカレント教育も必要である。こうした要請に応えるため、入学制度も多様化せざるを得ない。創造性を高め、相互に切磋琢磨する教育環境としては、多様な学生が一堂に会していることも重要である。以上の観点から次に挙げる7種の入学制度を設ける。

<修士課程・博士後期課程>

- ①一般入学制度・学内推薦入学制度・学内特別推薦入学制度
- ②一般推薦入学制度
- ③社会人特別入学制度
- ④システムデザイン専攻 自己推薦入学制度
- ⑤外国人学生特別入学制度

<修士課程>

- ⑥建築学専攻 選抜1年コース制度
- ⑦建築学専攻・都市環境デザイン工学専攻 キャリア3年コース制度

教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

デザイン工学研究科の目的は、総合デザイン力を身につけた高度な専門職業人や研究者を社会に輩出することにある。これを実現するため、研究科および各専攻は、学生が自ら問題を見出し、自ら解決策を探求し創造していけるよう、以下のような特色を備えた教育課程を編成し、実施する。

<修士課程>

- ①学部・大学院一貫教育カリキュラム
- ②複数コース制
- ③スタジオにおけるデザイン教育
- ④実務教育科目と学内外実習科目
- ⑤自主的活動に対する単位認定
- ⑥成績評価の公正化・公開制

<博士後期課程>

- ①学位論文作成準備指導
- ②コースワークの設定

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

デザイン工学研究科では、次の7項目にわたる素養や能力の獲得を学位授与の方針として掲げる。

1. デザイン目標の発見とそのコンセプトを設定する能力 – 企画・立案能力
2. 高い個別専門技術を組み合わせデザインする能力 – デザイン能力
3. 問題を幅広い観点から捉え、解を自主的・継続的に見いだす能力 – 問題解決能力
4. デザインの社会的責任を理解し、不測の事態にも誠実に対処する姿勢 – 職業的倫理
5. 人類の遺産である歴史と文化を理解する素養 – 歴史と文化への理解
6. 地球環境の視点から、持続可能な社会づくりに貢献できる資質 – 地球環境への理解
7. 研究・企画内容を論理的に記述し、口頭で発表し討議する能力 – 表現・伝達能力

以上の素養と能力を達成し総合デザイン力を身に付けたデザイン工学研究科の学生は、貴重な社会的人材として修了後多様化・複雑化した新しい時代における国際社会の困難な要請にも十分に対応していけるものとする。

<修士課程>

修士課程において所定の単位とコースワークを履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、論文の審査並びに最終試験に合格した者に修士（工学）の学位を授与する。

これにより、修士課程では総合デザイン力を身につけた高度な専門職業人として相応しい学識と人格が涵養されたことを証する。

<博士後期課程>

博士後期課程において所定の講義科目とプロジェクト科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、論文の審査並びに最終試験に合格した者に博士（工学）の学位を授与する。

これにより、博士後期課程ではより高度な総合デザイン力に基づく企画開発能力を有する教育者、研究者、指導者（専門特化型人材）として相応しい学識と人格が涵養されたことを証する。

目 次

学年暦	
研究科長の挨拶	
デザイン工学研究科の3つのポリシー	
I デザイン工学研究科修業について	1
II 科目の履修について	2
III 休講について	10
IV 学位論文の提出について	13
V 事務上の諸手続き	19
VI 資格科目の履修について	22
VII 奨学金・研究助成制度・留学制度・グローバル教育の推進・首都大学院コンソーシアム・障がい学生支援	25
VIII デザイン工学研究科履修案内	34
1. 建築学専攻 (含 建築士資格について)	34
2. 都市環境デザイン工学専攻	45
3. システムデザイン専攻	55
グリーン・ユニバーシティをめざして	62
市ヶ谷キャンパス案内図	63
掲示板位置案内図	64
教員オフィスアワー一覧	70

【 I. デザイン工学研究科修業について 】

大学院における教育は、開講科目の授業（単位制度によるもの）と、学位論文の作成等に関する研究指導によって行われる。

§修業年限について

修業年限とは修了に必要な最低の年数、在学年限とは大学に在籍することのできる最大の年限。

◎ 修士課程（博士前期課程）

建築学専攻

選抜1年コース 標準修業年限は1年 在学年限は2年

総合2年コース 標準修業年限は2年 在学年限は4年

キャリア3年コース 標準修業年限は3年 在学年限は6年

都市環境デザイン工学専攻

総合2年コース 標準修業年限は2年 在学年限は4年

キャリア3年コース 標準修業年限は3年 在学年限は6年

システムデザイン専攻

標準修業年限は2年 在学年限は4年

◎ 博士後期課程

3専攻とも標準修業年限は3年 在学年限は6年

§学位及びその授与

- ◎ 修士課程において所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査並びに最終試験に合格した者に「修士（工学）」が授与される。
- ◎ 博士後期課程において所定の科目を履修し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の審査並びに最終試験に合格した者に「博士（工学）」が授与される。

【Ⅱ. 科目の履修について】

【0】法政ポータルサイト（Hoppii）

大学には履修や成績、シラバスなど、学生が利用する様々なシステムやサイトがあります。それら全てのリンク先をひとまとめにしたポータルサイトが「法政大学ポータルサイト Hoppii (Hosei portal to pick up information)」です。今後、授業や成績、大学からの情報を確認したい場合には、まず「Hoppii」にアクセスしてみましょう。

トップページには各種システムやサイトのリンク先が掲載されており、キャンパス毎のお知らせ（災害等による休講等の重要なお知らせも含む）も確認できます。

ぜひ、自分のパソコン・スマートフォン等にブックマークしておいてください。なお、パソコンとスマートフォンでは、利用できる機能が異なりますのでご注意ください。

URL : <https://hoppii.hosei.ac.jp>



【1】法政大学情報システムについて

個人の履修登録や成績の確認は、情報システムを通して行う。利用に当たっては、各個人に配付されるユーザIDおよびパスワードを他人に知られることのないよう、各自で厳重に管理すること。

主な機能は以下のとおり。

各機能の利用開始時期および利用方法は、サービスによって異なる。掲示などで連絡するので注意して確認すること。

	サービス名	サービス内容
1	各種お知らせ	大学からの個人／全体／学部・学科宛のお知らせを確認することができる。
2	休講状況照会 補講状況照会	① 学の休講情報，補講情報を確認することができる。 ② 自分が履修登録した授業の休講情報，補講情報を確認することができる。 ただし，参照できるのは履修登録確定後。
3	授業・時間割照会	自分が履修登録した授業時間割を確認することができる。
4	単位修得状況照会	成績通知書の印刷，単位修得状況の照会ができる。
5	履修申請	授業の履修登録申請ができる。
6	キャリア就職	各種支援行事への参加申請や，企業情報，求人情報の検索ができる。
7	奨学金申請	各種奨学金の出願申請や，採用結果の確認ができる。

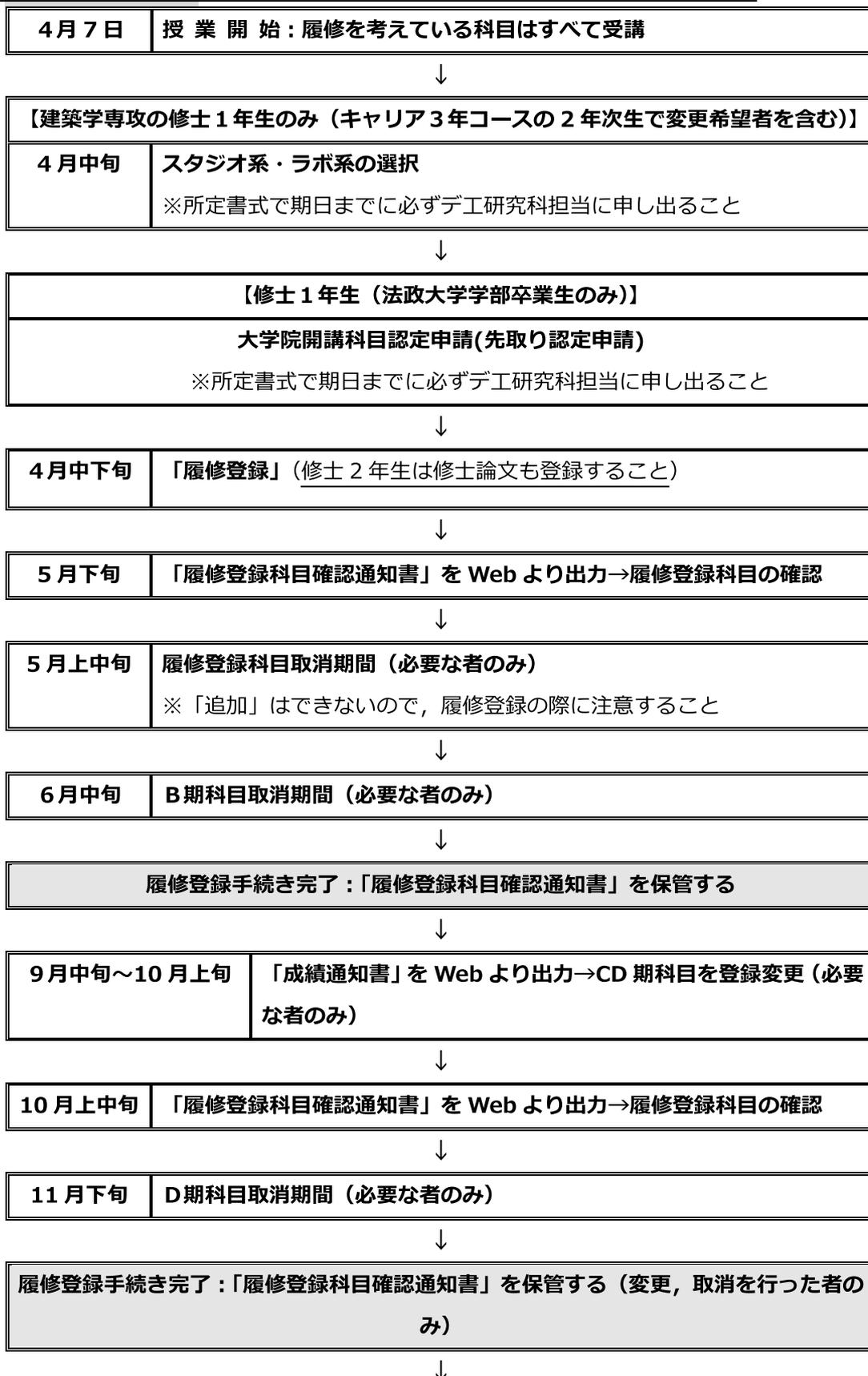
【重要】

「履修登録」「履修登録科目確認」「成績の通知」は、すべて新情報システムにて行う。
登録・確認期間等詳細は掲示などで通知する。忘れずに登録・確認するよう、各自注意すること。

【2】履修登録の流れ

詳細は「デザイン工学部・デザイン工学研究科WEB履修登録の手引き」参照。

注意：年に一度の履修登録となるので、秋学期科目も、4月に履修登録をすること。





3月中旬	「成績通知書」を Web より出力，進級・修了発表 1年間の成績と進級・修了を確認する
------	--

※上記記載の時期は予定。履修手続きなどについて具体的な期間や日時は「WEB履修の手引き」・大学院掲示板をよく確認すること。

■ Web 履修登録

Web 履修登録は、指定された期間内に各自が情報システムを使って Web 上で履修申請を行うものである。履修登録確認通知書の印刷も、各自で情報システムを使って行う。履修登録期間は掲示等で告知する。4月に一年分の科目の履修登録を行う。

Web で履修登録を行う際は、修了条件に満たないなどのエラーがある場合、登録が完了しない。修了条件などをよく確認し、事前に履修計画を立て、自分が履修する科目を別途書き出してから実際の Web 履修登録に臨むようにすること。

【重要】

「履修登録」「履修登録科目確認」「成績の通知」は、情報システムにて行う。(一部例外あり)
登録・確認期間等詳細は掲示などで通知する。忘れずに登録・確認するよう、各自注意すること。

■ シラバスについて

授業概要（シラバス）は下記の URL を参照のこと

<http://syllabus.hosei.ac.jp>

【3】履修上の注意点

授業科目を履修し単位を修得するために、学年の初めに履修科目の登録を行わなければならない。
デザイン工学研究科に年間登録制限は無いが、出席の意志がない科目は履修登録をしないこと。(後述する GPA に影響を及ぼすので注意すること。)

【研修生・委託研修生】

研修生、又は委託研修生のうち、在留資格が「留学」の外国人留学生は、出入国管理法により週 10 時間（6 コマ）以上、授業科目の履修が義務付けられている。授業科目の履修登録の際にもこれを下回らないよう手続きすること。

【研究生】

研究生のうち、在留資格が「留学」の外国人留学生は、指導教員と協議の上、研究テーマを設定し専ら研究活動を行うことが義務付けられている。指導教員と十分打ち合わせ、研究計画を立てるようにすること。

1. 指導教員

- a. 入学前に研究指導を受けようとする指導教員を決め、承認を得ておくこと。
- b. 原則として専任教員とする。
- c. 指導教員を変更する場合には、新旧両教員の承認を得て、デザイン工学研究科担当に届け出ること。
(指導教員が留学、休講等による場合も同様)

2. 他専攻、他研究科の履修登録について

- a. 他専攻・研究科科目を履修する場合、10単位まで修了要件として認められる。ただし10単位を超える分は修了要件には含まれない。
- b. 他研究科科目を履修希望している場合や、教職・資格科目を履修希望している場合、「首都大学院コンソーシアム」制度で他大学院の科目を履修希望している場合は、あらかじめデザイン工学研究科担当へ相談すること。

3. 先取り科目の認定について

法政大学学部卒業生で学部4年次に大学院科目を先取り履修した者は、修士課程1年次の4月に単位認定申請を行うこと。この認定申請を行わないと、大学院の科目として認められないので注意すること
(詳細は大学院掲示板を確認すること)。

4. 登録期限の厳守

- a. 履修登録は所定期間以外には受け付けない。
- b. 履修登録内容の変更は、履修登録期間に完了すること。

5. 「修士論文」

- a. 修士課程の最終学年(建築学専攻選抜1年コースは1年生、キャリア3年コースは3年生、それ以外は2年生)は4月に必ず「修士論文」を履修登録すること。(修士設計等を提出する場合も、科目名は「修士論文」を登録すること。)
- b. 修士論文の履修登録をおこなわないと修士論文審査を受けることができないので注意すること。

6. 修士課程の修了および履修について

- a. 修士の学位を得ようとする者は、2年以上在学し大学院学則の定めるところにより、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- b. デザイン工学研究科建築学専攻選抜1年コースで修士の学位を得ようとする者は、1年以上在学し大学院学則が定める所定の、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査並びに最終試験に合格しなければならない。
- c. デザイン工学研究科建築学専攻キャリア3年コース及び都市環境デザイン工学専攻キャリア3年コースで修士の学位を得ようとする者は、3年以上在学し大学院学則の定める所定の、45単位以上を修

得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査並びに最終試験に合格しなければならない。

- d. 修士論文は、大学院学則定めるところにより各研究科が認めた場合に限り当該専攻分野の特定の課題に関する研究成果をもって、これに代えることができる。

9月修了希望者は、修了希望年度の4月に申請が必要。

【 建築学専攻 】 注意：入学年度によって必修科目が異なるので注意すること。

学生は、以下A Bのどちらかを入学直後の4月上～中旬に選択しなければならない。

※「キャリア3年コース」については、2年次進級時に系の変更申請が可能である。

A：「ラボ系」修士論文が修了時の提出義務となる

B：「スタジオ系」修士設計が修了時の提出義務となる

※「スタジオ系希望者面談」を参考に指導教員（主査）と相談の上、決定すること。

1. 各系の修了要件は以下の通りである。

■ A：ラボ系（2014年度以降入学者）

- (1) 「共通基盤科目」と「基盤科目」から合計4単位以上を含む「共通基盤科目」と「基盤科目」および「専門科目」から12単位以上を履修しなければならない（コースを問わず）。
- (2) 「建築学修士研修1・2」及び「建築学修士プロジェクト1・2」を必修とする。
- (3) 必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、最終試験に合格しなければならない。

■ B：スタジオ系（2014年度以降入学者）

- (1) コースを問わず「共通基盤科目」と「基盤科目」から合計4単位以上を履修し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士設計を提出し最終試験に合格しなければならない。
 - ※「選抜1年コース」は「デザインスタジオ8」または「デザインスタジオ10」の1科目及び「デザインスタジオ11」を必修とする。
 - ※「総合2年コース」と「キャリア3年コース」は「デザインスタジオ11」を必修とし、加えて*デザインスタジオ8～10の中から12単位以上を履修しなければならない。かつ、必要な研究指導を受けた上、修士設計を提出し最終試験に合格しなければならない。
 - ※例えば「デザインスタジオ8(X)」と「デザインスタジオ8(Y)」などの組合せでも可。

2. 各コースの修了要件は以下の通りである。

- 1 ■ 「選抜1年コース」は修了所要単位30単位。
- 2 ■ 「総合2年コース」は修了所要単位30単位。
- 3 ■ 「キャリア3年コース」は専門科目（建築学科合併科目）から、**デザインスタジオ3・4を含む8単位以上**（ただし、修了要件としての認定は15単位を上限とする）を履修し、修了所要合計単位45単位とする。

（合併科目以外の学部科目履修は修了要件には含まれないが、一級建築士受験申請時に必要となる履修記録として残される。）

【 都市環境デザイン工学専攻 】注意：入学年度によって必修科目が異なるので注意すること。

■ 1 ■総合2年コース：2年以上在学して30単位以上を修得しなければならない。

■ 2 ■キャリア3年コース：専門科目（学部合併科目）は、デザイン工学部都市環境デザイン工学科の科目を指し、キャリア3年コースの研究生が1年次に履修する科目である。上記科目のうち、選択必修科目8単位以上を含む計8単位以上を履修しなければならない。ただし、修了要件としての認定は計15単位を上限とする。3年以上在学して45単位以上を修得（学部合併科目の8単位以上を含む）しなければならない。

また、両コースとも必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、最終試験に合格しなければならない。

【 システムデザイン専攻 】注意：入学年度によって必修となる科目名が異なるので注意すること。

2年以上在籍し、30単位（①共通基盤科目と②基盤科目の3科目6単位以上を含む（※1））以上を修得し、修士論文あるいは作品を提出し、最終試験に合格しなければならない。必修・選択必修はP66～P75で確認すること。

※1：①②単独，①②合算のどちらでも可

7. 博士後期課程の修了および履修について

博士の学位を得ようとする者は、博士後期課程に3年以上在学し大学院学則の定めるところにより、授業科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項のただし書にかかわらず、修士課程を1年で修了した者の在学期間に関しては、博士後期課程に2年以上在学しなければならない。

3 大学院学則の定めるところにより、システムデザイン専攻においては15単位以上、建築学専攻及び都市環境デザイン工学専攻においては16単位以上、修得するものとする。

【 建築学専攻 】注意：入学年度によって必修科目が異なるので注意すること。

専門科目2単位を含む16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【 都市環境デザイン工学専攻 】注意：入学年度によって必修科目が異なるので注意すること。

専門科目2単位以上、ならびにプロジェクト科目14単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【 システムデザイン専攻 】注意：入学年度によって必修科目が異なるので注意すること。

専門科目2科目4単位以上を含む15単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

8. 試験

a. 試験は授業内試験として、毎学期末あるいは学年末に実施される。また、授業担当者の判断により、レポートをもって試験に代えることがある。

- b. 試験及びレポートは履修登録をした科目のみ受験が認められる。

9. 成績の評価と GPA 制度の導入について

a. 成績の評価

「S」～「C-」を合格とし、「D」を不合格、「未受験・採点不能」を評価Eとする。科目によっては、上記の他、PF評価〔（Pass/合格）・（Fail/不合格）〕を導入している。

b. GPA 制度

① GP(grade point)

「S」～「C-」それぞれGP（グレードポイント：grade point）がつく。

各段階成績評価とG Pの関係は以下の通り。

素点評価する場合	素点評価しない場合	評価	GP	合否
100～90 点	学習目標を満たし卓越した成績をあげた	S	4.0	合格
89～87 点		A+	3.3	
86～83 点		A	3.0	
82～80 点		A-	2.7	
79～77 点	おおむね学習目標を満たしている	B+	2.3	
76～73 点		B	2.0	
72～70 点		B-	1.7	
69～67 点	最低限の学習目標を満たしたが不十分な点も見られる	C+	1.3	
66～63 点		C	1.0	
62～60 点		C-	0.7	
59～ 0 点	学習目標を満たしていない	D	0.0	不合格
未受験、採点不能	未受験、採点不能	E		

① GPA

GPA (grade point average) は成績を数値化し、客観的に評価するための指標である。算出方法は以下の通り。計算値は小数点以下第3位を四捨五入して表記する。なお、上記の P/F 評価は GPA には換算されない。

$$\text{GPA} = \frac{\text{〈履修登録した科目のGP} \times \text{その科目の単位数〉の合計}}{\text{履修登録した全科目の合計単位数}}$$

③ GPA を表示する書類について

- ・成績通知表：各学期のGPAと直近の学期までの在学期間を通算したGPA
- ・成績証明書：直近の学期までの在学期間を通算したGPA

② 登録の取消について

未受験その他によるE評価の科目は、GPA 計算式において、GPを0点として分子に算入し、単位数を分母に参入する。その為、E評価が多いほどGPA が低下する。こうした評価方法を採用している理由はシラバスを活用し、慎重に科目登録をすることが望ましいからである。一度登録した科目は自己責任の下で履修すること。登録取消の期限については、履修登録の際に必ず確認すること。

【Ⅲ. 休講について】

担当教員の都合その他により授業が休講となる場合は、Web 掲示板にて告知する。なお、不可抗力により教員が大学へ連絡ができないことがあるため、授業開始から 30 分経過しても担当教員が出講しない場合には、別途の指示がない限り休講とする。

その際には以下の方法で休講情報を確認すること。なお、教室変更についても Web 掲示板を参照すること。

【Web 版】

①法政大学情報ポータルサイト (<http://www.as.hosei.ac.jp/>) へアクセスし、各自の統合認証用のユーザ名/パスワードを入力してログインする。

②休講情報照会の呼び出し

法政大学情報ポータル画面が表示されるので、メインメニュー内の「休講情報照会」リンクを選択する。

③休講情報の照会

休講状況【照会】結果一覧画面内に自分が履修した授業に関する休講情報(全学休講含む)が表示される。

【携帯版】

① 法政大学携帯サービス (仮称) (<http://keitai.as.hosei.ac.jp/mobile/>) にアクセスし、各自の統合認証用のユーザ名/パスワードを入力してログインする。

②メニューの選択

サービスメニュー画面が表示されるので、利用したいサービス (ここでは「休講情報」) を選択する。

③確認したい休講情報の地区、所属、曜日・時限を順に選択すると、休講情報が表示される。

(注意事項)

- ・ 表示される休講情報は教員からの連絡に基づくものであり、追加や変更の可能性がある。
- ・ 補講などの詳細情報については、実際の掲示板で確認すること。(デザイン工学部掲示板の運用は別途案内する)
- ・ 休講情報は、教員の連絡に基づき 1 週間先までを表示する。また休講情報は 1 5 分毎に更新する。
- ・ 集中授業等の複数時限に渡って行う授業に関しては、当該授業の全時限を休講とする場合のみ表示する。(その際は、最初の時限のみの表示となる)。従って、複数時限の中に授業実施と休講が混在する場合にはその詳細まで、表示はしないので、掲示を確認すること。
- ・ 直前に連絡のあった休講情報はホームページ上に反映されない場合があるので大学院掲示板及び窓口で確認すること。

※ポータルサイト「Hoppii」の安定運用までの間は、掲示板の運用に変更がある可能性がある

特別な休講措置

<1> 大規模地震の発生が予想される時

東海地方を中心とする大規模な地震の発生が予想される時に、気象庁所管の「地震防災対策強化地域判定会」が召集され、状況によって「警戒宣言」が発令されます。本学では、「判定会」が召集された段階で（TV、ラジオ等により確認）休校とします。学生の皆さんは次のように行動をしてください。

- (1) 在宅の時には、そこに留まる。
- (2) 通学途中、または帰宅途中の時は、直ちに帰宅する。
- (3) 在校中の時は、大学からの指示により直ちに帰宅する。

なお、警戒宣言が解除された時、または判定会が解散された時は、休校を解いて平常授業に復します。

授業再開については、交通機関のストライキの措置に準じます。

<2> 台風や大雪などで交通機関が不通になったとき

法政大学では授業実施期間中に、台風や大雪等により公共交通機関に大きな乱れが生じることが予想される場合、あるいは学生の通学に危険が生じると判断した場合は、以下の通り授業を休講することがあります。

1. 天候悪化等により首都圏の公共交通機関に大きな乱れが生じることが予想される場合、あるいは暴風警報の発令等により通学に危険が生じると考えられる場合、大学は当日の授業の実施について協議し、その結果を以下の通り周知します。
 - a. 1・2時限の授業について、当日6:00までに大学公式ツイッターに休講措置の有無を掲載します。また、6:30頃までに大学公式ホームページに同内容を掲載します。
 - b. 3～5時限の授業について、当日10:00までに大学公式ホームページに休講措置の有無を掲載します。
 - c. 6・7時限の授業について、当日15:00までに大学公式ホームページに休講措置の有無を掲載します。
2. 事前に台風上陸等により公共交通機関の大きな乱れが生じることが予想される場合は、前日17:00までに上記周知の方法を大学公式ホームページに掲載し、学生・教職員に周知をします。
3. 上記によらず、前日において翌日の授業実施に大きな影響があると判断される場合は、前日17:00までに翌日の授業休講を決定し、大学公式ホームページに掲載することがあります。

<3> 交通機関のストライキが行われたとき

交通機関のストライキに際しての授業の取り扱いは、次のように決められています。

1. JRのストライキによりJRが運行されないときは、原則として次により授業を休講する。
 1. 午前6時までにストライキが解除されないとき、1・2時限の授業を休講する。

- 2.午前10時までにストライキが解除されないとき，1～5時限の授業を休講する。
- 3.正午までにストライキが解除されないとき，すべての授業を休講する。

【 IV. 学位論文の提出について 】

【1】学位論文審査基準

本学学位規則が求める申請要件を満たし、本研究科および各専攻が定める手続きの下に提出された学位申請論文は、以下に記す基準に従って審査される。

■修士課程：修士論文（全専攻）、または修士設計（建築学専攻）

本研究科の各専攻会議（大学院教室会議）は、修士の学位申請に対し、その受理の可否を決定し、審査に当たる主査と1人以上の副査を定める（注）。学位申請者は、以下の項目について、主査と副査による査読または予備審査、および公聴会における学位申請論文に関する試問を受ける。

1. 専門分野の現状と問題点を正しく認識し、その解決に客観的な視点から取り組んでいる。
2. 専門分野に関する広範な知識を有し、高度な専門技術に習熟している。
3. 学位申請論文を含む提出物は、正確な日本語または英語により記述されている。
4. 母国語以外に、専門分野に必要な一つ以上の外国語を理解するに十分な能力を持つ。

以上に関する評価結果に基づき、研究科教授会は修士の学位を授与することの可否を議決する。

■博士後期課程：博士論文

博士の学位申請に対し、その受理の決定および論文審査のため、本研究科内に審査委員会を置く。審査委員長は原則として研究科長が務める。受理の決定に当たっては、学位申請論文が以下の要件を満足しているかについて確認する。ただし、以下の要件に該当しない特別な事例については、審査委員会で審議し、受理の可否を議決する。

1. 論文の内容が、学術論文誌に第一著者として、1編以上（課程博士）あるいは2編以上（論文博士）、原著論文として掲載されている、または、掲載が決定されている。学術論文誌とは、国内外の学会・研究機関・学術誌編集組織により定期的に刊行され、掲載に査読を要する論文誌で、各専攻がその権威を認めたものを言う。**また、原著論文は、学術論文誌と同等な水準を有する単著による学術図書に代えることができる。**なお、専攻並びに専門分野によっては、その他の学術論文、または追加的な資料の提出を求めることがある。
2. 学位申請論文を含む提出物の使用言語は、日本語または英語とする。
3. 学位論文として、審査に値する形式と内容水準を備えている。

審査委員会における審査の結果、受理が決定した場合には、審査委員会の中に主査と2人以上の副査（注）からなる審査小委員会を設ける。小委員会では、学問的な内容に関する審査と並んで、以下の諸点に関する試験または試問を経て可否を判定する。

1. 母国語以外に、専門分野に必要な一つ以上の外国語による執筆、発表、討議を行うに十分な能力

を有する。

2. 審査の過程で公聴会を実施し、公正な外部評価を受ける。
3. その他、本研究科で定めるディプロマポリシーの要件を満たしている。

以上により、審査小委員会は審査の結果を審査委員会に報告し、審査委員会は博士の学位を授与することの可否を議決する。

注：本研究科の修士課程および博士後期課程の学生は、履修から進級および修了に至るコースワークにおいて、主査（主指導教員）と1人以上の副査（副指導教員）の下で指導を受ける。

デザイン工学研究科の学位論文は本学図書館に永久保存される。提出方法は各専攻により異なる場合があるので、学位論文を提出する際には、各指導教員及び専攻主任に問い合わせること。

【2】修士論文作成の基準

(1) 提出方法

修士論文の提出方法（形式）は主に以下「a」「b」の2種類あり、専攻によってその提出方法が異なる。各指導教員・専攻主任に確認すること。

a. 電子ファイルでの提出

pdf ファイル、提出先や提出日時等の詳細は、別途掲示板等を確認すること。

b. 電子ファイル以外での提出

- ・ A 4 判とし、横書きとし、1つの論文につき1つのファイルに整然と綴じる（分冊不可）。糊付けは不可。簡易製本は可とする。

(2)論文表紙の形式（pdf, 紙ベース共通）

表紙には以下の事項を漏れなく記載すること。

記載事項

- a. 《修了年度》 年度修士論文 注) 年度は西暦で記載すること。
- b. 指導教員名
- c. 論文題名
- d. 所属
- e. 学生証番号
- f. 氏名

- ◎ 修士論文は今後の研究に必要となることがあるので各自、コピーを保管しておくこと。
- ◎ 修了時には「大学院紀要」に修士論文の概要を収録することが義務づけられている。詳細は別途掲示する。

【3】博士の学位申請手続

本学博士後期課程3年次に在学中で、所定の科目を履修済または履修見込の者および本学博士後期課程に3年以上在学し、所定の科目を履修した後、退学して3年以内の者が博士の学位を修得する場合を、「課程による者の学位」として**課程博士**、上記以外の者が博士の学位を申請する場合を、「課程によらない者の学位」として**論文博士**とそれぞれ略記する。

(1) 申請

正式な申請手続を行う前に、必ず、指導教員と学位申請についての打合せを行うこと。

申請予定者は、申請の前に「博士学位申請ガイド」を受け取り、下記の書類（指定用紙はデザイン工学研究科窓口にて配布）を窓口に提出する。提出書類をもって論文受理の可否を審議し、受理が決定した場合は審査へ進む。詳細は、上記の「博士学位申請ガイド」を参照すること。

提出書類	課程博士	論文博士	備考
① 博士論文審査願（課程博士）	1部	---	指定用紙【様式1】
① 博士学位申請書（論文博士）	---	1部	指定用紙【様式1】
② 博士論文目録	1部	1部	指定用紙【様式2】
③ 論文（審査用）上製本する必要はない。 簡易製本またはフラットファイル等に綴じたもの。	3部	3部	
④ 論文要旨（4,000字以内）	1部	1部	指定用紙【様式3】
⑤ 論文のデータファイル 注1	1部（1枚）	1部（1枚）	C D - R（データ形式（PDF））
⑥ 履歴書	1部	1部	指定用紙【様式4】
⑦ 研究業績	1部	1部	指定用紙【様式5】
⑧ 副論文目録（必要に応じ）	1部	1部	指定用紙【様式6】
⑨ 副論文（必要に応じ）	3部	3部	
⑩ 電子公開複写許諾書	1部	1部	指定用紙【様式7】
⑪ 電子公開に関する報告書	1部	1部	
⑫ 住民票（論文博士のみ提出）	---	1部	指定用紙【様式8】
⑬ 最終学歴証明書（論文博士のみ提出）	---	1部	

注1・・・学位申請時に提出の必要はない。下記の「(7) 論文のインターネット公表」を参照。

(2) 申請期限

提出にあたっては、事前に指導教員に相談すること。

① 課程博士（博士後期課程在学中の者及び単位修得退学後3年以内の者）

専攻	9月授与希望者	3月授与希望者
各専攻	当該年度の4月10日	当該年度の11月30日

② 論文博士

随時受付可、審査期間6か月～1年程度（事前に本学専任教員と打ち合わせを行い、提出の準備をすること。）

(3) 論文の形式

審査のため提出する論文は著書以外、原稿のサイズはA4判とし、**次図を参照して簡易製本またはフラットファイル等に綴じて提出すること。**

<表紙>

横書き

論文題名

氏名

<背表紙>

論文題名

氏名

2cm あける

4 cm あける

(4) 審査料

受理が決定した後に、所定の審査料を納入すること。

- 本学博士後期課程3年次に在学中で、所定の科目を履修済または履修見込みの者 無料
- 本学博士後期課程に3年以上在学し、所定の科目を履修した後、単位修得退学して3年以内の者 11万円
- 上記以外の者が博士の学位を申請する場合 22万円
- ただし、本学専任教職員は 11万円

(5) 審査

学位規則に基づいて審査を行う。学位規則は「大学院ホームページ」参照。

(6) 学位の授与

論文審査に合格すれば9月または3月に学位が授与される。

9月学位記交付式 9月12日

3月学位授与式 3月24日

(7) 論文のインターネット公表

2013年4月1日から学位規則の一部を改正する省令が施行され、論文のインターネット公表が義務化された。論文はインターネットによる全文公表が前提。学位が授与された博士論文は、学位授与後1年以内に、法政大学学術機関リポジトリを經由してインターネット上に公開 (http://www.design.hosei.ac.jp/gs/students_news/list.php) され、国立国会図書館にも収蔵される。所定の期日までにCD-Rにて論文全文の最終版のデータファイルを1部提出すること。

なお、止むを得ない理由により、論文の全文に代えてその要約したものを公表する場合には、その理由を予め届け出ること。

(8) 論文の保存

論文は法政大学図書館および法政大学大学院（デザイン工学研究科）にて永久保存するので、**製本業者による上製本（ハードカバー）**したうえで、所定の期日までに2部提出すること。形式は（3）の図を参照。表紙および背表紙（黒色）に論文題名と氏名等を記載（金色）。

(9) 紀要

修了時には「大学院紀要」に論文の概要を収録することが義務づけられている。詳細は別途連絡する。

(10) その他

学位授与の可否については、申請者に直接連絡する。

学位申請後、審査期間中に住所を変更した場合には、必ずデザイン工学研究科窓口に届け出ること。

研究者倫理の向上に向けて

法政大学は、不正行為を抑止する環境整備として、研究倫理教育の実施による研究者倫理の向上を推進している。大学院生各位は、研究者倫理に関する規範意識を身につけるため、図書や e-learning のツールを使って、研究倫理教育の学習を行うことが求められている。

研究倫理教育の基本を学べる方法を紹介する。

◆『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』（日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会編，丸善出版）

※文部科学省ホームページ「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－【日本語テキスト版】」（PDF:1.78MB）（※日本学術振興会ウェブサイトへリンク）

http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1353972.htm

◆ eL CoRE（日本学術振興会， e-learning）

『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』をもとに、時間と場所を選ばずに研究倫理を学修できるように作成した e ラーニング教材。平均学習時間は約 90 分。受講料は無料。個人にて登録。

<https://www.netlearning.co.jp/clients/jsps/top.aspx>

<研究者倫理規範の具体例>

■ 研究の妥当性

研究目的が、修士や博士などの学位修得を目的とするものであれ、国際的な大規模プロジェクトのようなものであれ、研究には科学的な妥当性・独創性が必要。これらを確認するためには、先行研究を入念に調査・分析することは当然だが、関連する学協会が定める倫理綱領・行動規範などと、自分が進めようとする研究の目的に整合性があるかどうかも見定める必要がある。

<出典> 日本学術振興会『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』

■ 研究活動における不正行為

I 捏造（Fabrication）

存在しないデータ、研究結果等を作成すること。

II 改ざん（Falsification）

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。

III 盗用（Plagiarism）

他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

IV その他

同じ研究成果の重複発表、論文著作者が適正に公表されない不適切なオーサーシップなども不正行為の代表例と考えることができる。

※二重投稿は、適切な引用がされていない場合、自己盗用とみなされることがある。

<出典> 文部科学省『研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン』

【 V. 事務上の諸手続 】

1. 主な事務取扱業務について

事務取扱業務については以下のとおりである。

	内 容	担 当
授 業 関 連	休講・教室変更の連絡	デ工研究科担当
	履修登録方法	
	大学院学生研究補助金の申し込み	デ工研究科担当
試 験	「成績通知書」	デ工研究科担当
学 籍	「住所変更届」	デ工研究科担当
	「氏名変更届」	
	「保証人変更届」	
	「休学願」	
	「退学願」	
	「復学願」・「復籍願」	
証 明 書	「学生証再交付願」	デ工研究科担当
	通学定期券発行控の使い切り	デ工研究科担当
	証明書（和文・英文）	証明書自動発行機
	「通学証明書」	デ工研究科担当
	「学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）」	証明書自動発行機
就 職	就職相談	キャリアセンター 市ヶ谷事務課(※市ヶ谷本校地)
日 常 生 活	落とし物	デ工研究科担当
	盗難	デ工研究科担当
	アルバイト紹介	学生センター(※市ヶ谷本校地)
	下宿紹介	学生センター(※市ヶ谷本校地)
	奨学金	学生センター(※市ヶ谷本校地)
	傷病	診療所(※市ヶ谷本校地)
	学生傷害保険関係	学生センター(※市ヶ谷本校地)
	契約宿舍ゼミ利用における宿泊料補助	外濠校舎 6 階 エイチ・ユー
石岡総合体育館施設の申し込み	80年館受付(※市ヶ谷本校地)	

2. 窓口取扱時間

平日 9:00～11:30, 12:30～17:00

土曜（第1・第3） 9:00～12:00

※窓口によって、また時期によって上記と異なる場合がある。詳細は大学 HP にて要確認。

3. 事務上の諸手続

(1) 学生証番号

研究科各専攻の学生個々に7桁の番号が付され、この番号は在籍中変更されない。番号は、学生証に明示され、受講科目の登録、その他諸手続きの際に氏名と併用して使用する。

(2) 学生証

- a. 学生は常時学生証を携帯し、本学教職員が開示を求めた場合には必ず提示すること。
- b. 2年次以降は新年度用の裏面シールのみ、毎年4月に交付するので貼りかえること。
- c. 課程修了、退学、除籍のときは、直ちに返却すること。
- d. 紛失した場合にはデザイン工学研究科窓口へ届出、再交付を受けること。再交付料は2000円とする。

(3) 健康診断

毎学年度初めに実施される健康診断を受けること。詳細は、掲示板等で案内する。

(4) 学 費

入学金、授業料その他学費に関しては学則第9章によるが、納付期限ならびに標準修業年限を超えた者及び休学者については次の通りとする。

- a. 授業料は、原則として春学期分は4月末まで、秋学期分は9月末までに納入すること。
- b. 標準修業年限を超えて在学する者の学費

修士、博士後期課程ともに以下の授業料および教育充実費が適用される。

①「論文と科目が未修得」の場合

当該者の入学年度に定められた授業料および教育充実費の2分の1

②「論文のみ未修得」または「論文に合格したが科目1科目以内（2単位科目は0.5科目とする。）

未修得の者」の場合

当該者の入学年度に定められた授業料および教育充実費の4分の1

また、上記①②の学費の他に実験実習費が加わる。

なお、当該年度の学費は年度の始めに決定するため、春学期末をもって修業年限に達した場合でも、秋学期学費の上記減額措置は適用されない。

9月に博士学位を授与され修了する場合には、秋学期分の授業料は徴収しない。

c. 休学を許可された者の費用

休学在籍料（年間休学：10万円、春学期または秋学期のみ休学：5万円）を納入する。

* 休学該当期間の授業料、実験実習料及び教育充実費の納入を要しない。また、年間休学を許可された者は原則として諸会費の納入を要しない。

(5) 諸届・願出様式

項目を届出あるいは願い出の場合には所定書式を用いて手続きすること。

提出先は特に指定がない限りはデザイン工学研究科窓口とする。

a. 氏名変更届	変更が生じた場合には住民票を添付し、直ちに届出ること。
b. 住所変更届	変更が生じた場合には学生証を持参し、直ちに届出ること。
c. 在学継続届	博士後期課程在学者で、4年目以降在学する場合には必ず届出ること
d. 修了後の進路先届	修了後の進路が決定した場合には必ず「キャリアセンター市ヶ谷事務課」に所定の書式にて届出ること。
e. 休学届	年間休学・春学期休学 5月末日まで受付 秋学期休学 10月末日まで受付
f. 退学届	学費前期分未納者 5月末日まで受付 学費後期分未納者 10月末日まで受付 所定用紙に記入し、学生証を添えて提出のこと。
g. 復学願	退学したものが復学を希望する場合、願出書提出後、研究科教授会の議を経て復学を許可されることがある。 希望者はデザイン工学研究科担当窓口まで申し出ること。 再入学金 10万円（他校出身者のみ）
h. 復籍願	授業料未納によって除籍されたものが復籍を希望する場合、願出書提出後、研究科教授会の議を経て復籍を許可されることがある。 希望者はデザイン工学研究科担当窓口まで申し出ること。 再入学金 10万円（他校出身者のみ）

(6) 証明書発行

各種証明書の発行は、デザイン工学研究科担当窓口横の証明書自動発行機で修得すること。

証明書手数料（和文） 各1通 200円

〃（英文） 各1通 200円

(7) 学割・教室借用

a. 学割

学生旅客運賃割引証を必要とするときは、証明書自動発行機で修得することができる。

ただし、科目等履修生は、利用できない。

b. 教室借用手続

教室を使用したい場合は、窓口申し出ること。ただし、授業に支障のない場合に限る。

(8) 大判スキャナー利用について

大判スキャナー利用については、事前に、2階事務室で所定の手続きを行うこと。

【 VI. 資格科目の履修について 】

1. 専修教育職員免許状について

(1) 専修教育職員免許状とは

中学校および高等学校教諭 1 種の教育職員免許状修得済の者が、修士課程を修了すること等により、申請修得できる上位免許である。

(2) 専修教育職員免許状修得要件

中学校専修・高等学校専修免許状を修得しようとする者は、当該免許教科の教科専門科目に含めることができる大学院専門科目を、24 単位以上修得し、修士課程を修了しなければならない。その際の基礎資格は、「**大学院研究科修了**」となる。

また、修士論文等を提出せず、今年度修了できない場合でも、専修免許状にかかる必要単位を含めて 30 単位以上を修得していれば、専修免許状を修得することができる（その際の基礎資格は「**研究科 1 年以上在学・30 単位以上修得**」となる）。

なお、以下のようなケースに陥らないように注意すること。

例：他研究科専攻の科目を 8 単位履修し、これを修了所要単位に含めようとする場合、自専攻に設置されている科目のみで 24 単位以上を修得しなければ、大学院を修了することはできても、専修免許状を修得することはできない。

建築学専攻 専修免許状（工業）の教科に関する科目（2015 年度以前入学者のみ）

● 2016 年度以降入学者は、「専修免許状（工業）」は修得できない。

科目名	単位数	科目名	単位数
造形デザイン概論（2016 年度廃止）	2	連続体力学特論（2016 年度廃止）	2
近現代デザイン概論	2	シェル・空間構造特論（2016 年度廃止）	2
環境工学概論	2	特殊環境特論	2
設備計画概論	2	建築設備特論	2
建築史概論	2	都市解読方法特論	2
地震工学概論	2	建築設計特論	2
建築構造力学特論	2	空間解析特論	2
曲面構造特論	2	デザインスタジオ 1 1	6
構造解析特論	2	デザインスタジオ X	2

都市環境デザイン工学専攻 専修免許状（工業）の教科に関する科目（2015年度以前入学者のみ）

●2016年度以降入学者は、「専修免許状（工業）」は修得できない。

科目名	単位数	科目名	単位数
造形デザイン概論（2016年度廃止）	2	自然環境共生論（2016年度廃止）	2
近現代デザイン概論	2	流域水マネジメント	2
環境工学概論	2	応用水文学	2
景観デザイン概論	2	地盤・地下水環境保全学（2019年度廃止）	2
都市環境デザイン工学基礎 1	2	鋼構造の疲労	2
都市環境デザイン工学基礎 2	2	耐久性力学	2
材料科学概論	2	サステイナブル都市デザイン	2
都市交通マネジメント	2	水環境デザイン	2
空間情報デザイン	2		

システムデザイン専攻 専修免許状（情報）の教科に関する科目

●2019年度以降入学者は、「専修免許状（情報）」は修得できない。

科目名	単位数	科目名	単位数
コンピュータサイエンス論	2	可視化情報処理論（2016年度廃止）	2
コンセプトデザイン論	2	サイバー空間表現論（2016年度廃止）	2
インダストリアルデザイン論	2	構造デザイン論	2
インタフェースデザイン論	2	生産システム経営論（2020年度廃止）	2
製品デザイン原論	2	プロダクションデザイン論	2
マンマシンデザイン論	2	マネジメントサイエンス論	2
知能機械デザイン論	2	システム工学論	2
知能情報技術論	2		

（3）研究科専攻別教育職員免許状の種類

本研究科で修得できる教育職員免許状の種類および教科は下表の通りである。

- 建築学専攻と都市環境デザイン工学専攻の2016年度以降入学者は、「専修免許状（工業）」は修得できない。
- システムデザイン専攻の2019年度入学者は、「専修免許状（情報）」は修得できない。

研究科	専攻	専修免許教科の種類 (高等学校)
デザイン工学研究科	建築学	工業
	都市環境デザイン工学	工業
	システムデザイン	情報

(4) 教育職員免許状一括申請について

大学が集中している東京都では、卒業をもって教育職員免許状の申請を受付、審査し、採用に間に合うよう免許状を授与することは困難な状況であるため、東京都教育委員会では、東京都内に所在する大学等の卒業生のために、免許状の申請を大学ごとにとりまとめて審査し、一括して免許状を授与する方法をとっている。

今年度の申請受付期間は7月上旬を予定している。

(5) 教育職員免許状個人申請について

上記〈一括申請対象者〉以外の者については、個人申請をすることになる。個人申請の場合は、申請者の居住地の都道府県教育委員会に申請することになる。詳細は、各自が居住する都道府県教育委員会に問い合わせること。

ただし、東京都の場合、一括申請の取り扱いに伴い、毎年年末年始及び2月中旬から4月中旬まで、個人申請の受付を停止するので注意すること（なお、都内の国公私立学校に教員として採用が内定している者は受け付けるとのことなので、各自で東京都教育庁へ問い合わせること）。

2. その他の資格について

(1) 図書館司書・学校図書館司書教諭・社会教育主事・博物館学芸員

上記の資格の修得を希望する場合は、キャリアデザイン学部主催科目を、キャリアデザイン学部教授会承認を得たうえで、学部聴講で履修することになる。学部聴講に際し、年間履修上限は24単位であり、受講料が別途必要となる。自研究科授業の履修に支障を来たさないよう十分に留意すること。詳細はデザイン工学研究科担当に確認すること。

【 VII. 奨学金・研究助成制度・留学制度・グローバル教育の推進・首都大学院コンソーシアム 】

1. 奨学金（※休学者は出願できない）

随時更新されるため、最新情報は必ずHPを確認のこと。

（1）法政大学 100 周年記念大学院修士課程奨学金

法政大学は、創立 100 周年を記念して、1984 年度より特別奨学金制度を設けている。2019 年度のデザイン工学研究科での採用実績は 25 名、詳細は、「法政大学 100 周年記念大学院特別奨学金給付規程」を参照。

（2）日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与希望者には、毎年その年度の枠内で選考の上採用している。

出願資格は、大学院研究科の修士・博士後期課程在学者。

詳細は、学生センター厚生課まで問い合わせること。

①貸与月額

• 第一種（無利子）（2019 年度）

修士課程（1 ～ 2 年生）	50,000 円, 88,000 円のどちらかを選択
博士後期課程（1 ～ 3 年生）	80,000 円, 122,000 円のどちらかを選択

• 第二種（有利子）（2019 年度）

修士課程・博士後期課程の全学年とも、月額 50,000 円・80,000 円・100,000 円・130,000 円・150,000 円の中から、希望する金額を選択できる。

②成績優秀者返還免除について

大学院において日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた学生で、在学中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した場合は、貸与を受けた奨学金の返還について一定額の免除を受けることができる。詳細は例年 12 月頃に日本学生支援機構からの案内を掲示予定。

<願書について 上記（1）（2）>

配布場所及び日程：

学生センター厚生課窓口（外濠校舎 1 階）、市ヶ谷田町校舎 T314 4月1日（月）より予定

提出場所及び日程：

富士見坂校舎 3 階学生ラウンジ 別途案内を行なう

※期間内に提出できない場合は必ず事前に学生センター厚生課に連絡すること。

<研究成果報告書の提出について 上記（1）>

奨学金の採用者は、年度末に指導教員（指導教員が決定していない場合は専攻主任）に研究成果報告書を提出する義務がある。提出先・提出期限等の詳細は、採用決定者に別途通知する。

(3) その他、地方公共団体・民間奨学団体奨学金について

本学に募集が届き次第、随時、大学院掲示板に掲示するので、希望者は田町校舎 2 階奨学金掲示板を見逃さないようにし、指定された日時までに手続きをとること。

各種奨学金を受給する場合、各団体で定められたレポート、報告書等の提出、会合への出席等の義務は必ず果たすこと。

(4) 日本学術振興会特別研究員について

日本学術振興会では博士課程在学者、修了者等で優れた研究能力を有し、大学で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する。制度の詳細は、日本学術振興会ホームページ参照。(http://www.jsps.go.jp/)

<問合せ先>

(1) (2) : 学生センター厚生課 (外濠校舎 1F)

電話番号 : 03 (3264) 9488

窓口時間 : 月～金 9 : 00 ~ 19 : 00 土 9 : 00 ~ 12 : 00

(4) : 研究開発センター (新見附校舎 1F)

電話番号 : 03 (5228) 1244

窓口時間 : 月～金 9 : 00 ~ 17 : 00

2. 研究助成金

大学院においては、下記のような研究補助金がある。随時更新されるため、最新情報は必ずHPを確認のこと。なお、在学学生向けの補助金に休学者は出願できない。

(1) 法政大学博士後期課程研究助成金

博士後期課程に在籍する大学院生に対し、学術研究を奨励し、高度の研究能力と豊かな学識を有する研究者を育成するための経済的支援制度。

支給額は、年額 45 万円 (理系) ただし、申請者多数の場合には、一人あたりの給付額を減額する場合がある。

応募資格等の詳細、申請については募集要項を参照。申請期間は9月下旬を予定。

(2) 大学院学生海外留学補助金

大学院学生の海外留学による学術研究を奨励し、資質の向上をはかることを目的とする。

定められた申請期間に海外留学を申請し、留学を許可された者のうち、審査のうえ若干名に補助金が交付される。後述の「留学について」を参照すること。

(3) 大学院学生研究奨励金

大学院学生で優秀な学術研究論文を発表した者に対して、研究活動を奨励し、学力の向上をはかるため、大学院委員会で選考のうえ奨励金を給付している。

大学院に在学中に執筆し、かつ在学中の研究成果として刊行された論文を対象としており、奨励金の額は 1 人 3 万円。

この奨励金の給付を受けようとする者は、所定の期日（10 月下旬を予定しています）までに、次の書類をデザイン工学研究科窓口へ提出すること。

- 大学院学生研究奨励金給付申請書（指導教授の承認が必要）
- 採用が決定された場合の振込先
- 論文 2 部
- 未公刊の場合は、論文の掲載を証明する書類

(4) 大学院学生学会発表奨励金

大学院学生の学会における活動を奨励し、学術研究の促進をはかるため奨励金を給付している。

対象者は、学会において研究発表、報告等を行う修士課程または博士後期課程の学生。対象の学会は、日本学術会議に登録された全国規模の学会またはこれに準ずる学会。ただし、学会開催地が東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の場合を除く。

奨励金の額は、学会に出席するための交通費及び宿泊費の実費とし、学生 1 人につき、毎年度原則 1 回・限度額 3 万円。給付に関する詳細は、募集要項を参照。

この奨励金の給付を受けようとする者は、次の書類を発表後、デザイン工学研究科窓口へ当該年度内の 3 月の 第一金曜日までに提出すること。

- 大学院学生学会発表奨励金申請書（指導教員の承認を要する）
- 大学院学生学会発表奨励金報告書
- 大学院学生学会発表奨励金支出証憑類（領収書は申請者本人名義フルネームで修得すること。領収書の修得忘れは支給不可）
- 大学院学生学会発表奨励金の振込先
- 学会開催者による案内状および発表または報告を証明する文書

(5) 優秀博士論文出版助成金

大学院における高度な学術研究を奨励し、その優れた研究成果を積極的に公表するため、博士論文を出版する際の経費を一部助成する制度。

本学大学院博士後期課程を修了し博士学位を修得した方または課程によらない論文博士の方でいずれも学位修得後 5 年以内の方が応募対象。年度ごとで 6 人（全研究科・専攻）まで採用、1 人につき 100 万円を上限として実費支給。本助成金制度へ応募できる回数は、2 回まで。

応募書類の提出は 3 月上旬（予定）。

(6) 特色ある教育研究プログラム補助（仮称）

(7) 諸外国語による論文等校閲補助制度

大学院における学術研究の高度化、国際化を奨励するため、在籍する大学院生が自ら執筆した母語以外の諸外国語による論文やレポートにつき専門家・業者の校閲を必要とする場合の経費の一部を補助する制度。

補助対象は国内外の学会等で発表する論文およびその要旨、修士論文およびその要旨、編著単行本掲載論文、雑誌投稿等、研究発表上必要な論文およびその要旨、その他、本大学院が適当と認める論文等です。校閲に要した経費について、1人1件あたり10万円を上限として実費支給する。

申請回数は当該年度1回まで。ただし希望者多数の場合には、1人あたりの補助金額を減額する場合があります。

申請期間は、2月下旬の年1回。

(8) 学生論文掲載料等補助

大学院における学術研究の高度化、国際化を推奨するため、博士後期課程の学生を対象に、外国語による論文が外国発行の学術誌に掲載される場合に、その掲載に係る経費の一部を補助する制度です。

補助の対象は、当該論文の掲載に係る投稿料、掲載料、オープンアクセス料、別刷代の経費とし、1件あたり10万円を上限に実費支給。なお、外国語の翻訳や校正に係る経費は対象外とし、また共著論文については本人がファーストオーサーまたはコレスポンデンスオーサーの場合に限り補助対象とする。

申請回数は当該年度1回（1件）。希望多数の場合は1人あたりの補助金額を減額する場合があります。申請時期は2月中旬を予定。

3. チューター制度（外国人留学生対象）

上級生をチューター役として採用し、非正規生を含む下級生に対して大学院生活全般の指導にあたる。指導範囲は大学院授業で課されるレポートの助言・添削、学位論文、その他研究上の助言、大学院生活適応に関する助言、相談、学習上の助言、相談、その他、大学が研究遂行上、適切と認める指導、助言。本制度の詳細については、4月初めに募集要項を配布しますので十分確認すること。

4. 教育訓練給付制度

以下の専攻の修士課程については、「教育訓練給付制度一般教育訓練給付」の指定を受けている。この制度は、勤労者（離職者も含む）に対し、厚生労働大臣が指定した講座における教育訓練に要した費用の一部を補助するものである。（<http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/kyouiku/>）

本人が修了後に住民票のある住所地のハローワーク（公共職業安定所）へ申請することにより、教育訓練経費（入学金と初年度授業料）の20%相当額（上限10万円）の教育訓練給付金が支給される。申請は、修了日（3月24日または9月12日）の翌日から起算して1ヶ月以内。入学年度により支給条件が異なりますのでハローワーク発行のリーフレット参照。

この制度は、デザイン工学研究科の全専攻に適用される。

ただし、転研究科・転専攻した方はすべて対象外。

受給資格のための照会票は随時、デザイン工学研究科窓口で配付。

支給申請に必要な書類のうち、以下の3点については、修了生発表日以降に申請すること。

- 教育訓練給付金支給申請書
- 教育訓練修了証明書
- 領収書

5. ゼミで契約宿舎を利用する場合の宿泊費補助

ゼミ合宿で（株）エイチ・ユーが「ゼミ合宿の宿」として提携・紹介する宿泊施設を利用した場合に宿泊料補助を行っている。詳細は、以下の大学ホームページにて掲載。

（HOME > キャンパスライフ > 学生生活サポート > ゼミでの契約宿舎利用における宿泊料補助）

<http://www.hosei.ac.jp/campuslife/support/keiyaku/>

6. ERP（英語強化プログラム）について

ERP（英語強化プログラム）は、グローバル教育センターが提供するネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの要請とその統合を目的としたプログラム。将来、海外留学や国際的な企業・機関への就職を検討している方に受講をすすめる。

なお、大学院では、単位認定の制度はない（単位として認められない）。

詳細は、グローバル教育センターのホームページを参照。

7. 留学制度について

(1) 「大学院学生海外留学に関する規程」に基づく留学について（全専攻の学生対象）

留学先は、本学と協定を有する外国の大学または学生の申請に基づき本学が認めた「正規の高等教育機関」（現行は「大学およびその研究機関」）です。3月上旬頃募集について大学院ホームページ等に掲載するので、指導教員の承認を得て、所定の期日（5月中旬予定）までに、必要書類をデザイン工学研究科担当に提出すること。研究科長会議での審議により留学が許可される。また選考により若干名に留学のための補助金を（100万円程度）が給付される。

- ・ 海外留学申請書（海外留学計画書等含む）
- ・ 指導教員の推薦書
- ・ 補助金の振込先
- ・ 留学先大学の入学許可書（受け入れ許可書）および概要書

大学院ホームページ掲載の「大学院学生海外留学に関する規程」を必ず確認すること。

留学した大学等において履修した科目のうち、研究科が適当と認めたものについては、本学大学院の課程修了に必要な単位（10単位）として認定することができる。

(2) 法政大学派遣留学生制度について（全専攻の学生対象）

学業成績が優秀で高い外国語能力を持ち、かつ留学への強い意志を持った学生を本学の海外協定大学へ派遣する制度。詳細は、グローバル教育センターのホームページを参照。

(3) 南カリフォルニア建築大学（サイアーク（SCI Arc））との交換プログラムについて

（建築学専攻の学生対象）

夏季休暇期間を利用し、南カリフォルニア建築大学において、デザインスタジオを実施するプログラム。募集等詳細については、4月上旬にガイダンスを行う予定。開催日などは、掲示版で確認すること。

- 期間：8月上旬～8月中旬（約2週間）（予定）
- 募集人数：15名程度（予定）

(4) ユタ大学との交換プログラムについて

（3専攻共通）

9月に約2週間、ユタ大学ブラッフ校でデザインスタジオを実施する。このワークショップにはユタ大学の教員と本学の教員と協同で英語での設計教育を行なうが、参加学生は米国の大自然の中で生活することで感性を磨き、建築英語だけでなく生きた英語を体験的に学習する。募集等詳細については、4月上旬にガイダンスを行う予定。開催日などは、掲示版で確認すること。

- 期間：9月中旬～（約2週間）（予定）
- 募集人数：12名程度（予定）

8.グローバル教育の推進について

法政大学では早くから学生の海外留学や外国人留学生の受け入れを行い、大学教育のグローバル化を進めてきた。2014年度には文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に採択され、グローバル教育のさらなる拡充を推し進めている。以下に、グローバル教育センターが提供する主なプログラムを紹介する。

(1) E R P (英語強化プログラム)

E R Pは一定の英語力と高い英語学習意欲を持った学生を対象にグローバル社会で活躍するための英語力を養成するためのプログラムで、3キャンパスで開講されている。

(2) Gラウンジ

Gラウンジは外国語コミュニケーション空間として、市ヶ谷(大内山校舎2階)、多摩(総合棟地下1階)、小金井(管理棟4階)の3キャンパスに設けられている。Gラウンジでは英語学習アドバイザーなどネイティブスピーカーとの日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、実践的な学力を身に付けることができる。英語で話したい、英語の上達方法を教わりたい、海外の文化を知りたいなど、学生のような希望に対応する。またGラウンジはE R P (英語強化プログラム) や国際交流ボランティア・インターンシップなどの窓口にもなっており、スタッフが常駐して問い合わせや相談に応じる。

(3) 国際インターンシッププログラム

海外での様々な体験を通して、世界を違う視点でから見ることで、グローバル人材に求められる国際感覚や様々な能力を身に付けるのが、国際インターンシッププログラム。国際インターンシップでは、派遣先での就業体験を通じて、グローバル化社会に対応した働き方や文化の違いを学ぶ。将来的にはグローバル企業への就職など学生のキャリア形成支援につなげていく。

(4) 国際キャリア支援プログラム

将来、海外の企業や国際機関で働きたいと考えている学生を支援するプログラム。漠然と海外への憧れを抱いている学生に対する動機づけや、実際に海外機関への就職を考えている学生への支援を行う。実際に就職を考えていなくても国際協力に関する課題や海外の職場で働く際のやりがいなどについても学ぶことができるプログラムを用意している。講演会やセミナーを行い、在学生に対してグローバル企業や国際機関で働くことを考えるきっかけを提供する。

(5) グローバル・ポイント制度

「グローバル・ポイント制度」は、留学や語学研修など大学が指定する対象プログラムへの参加についてポイントを付与することで、学生自身がそれぞれの活動状況を把握し、今後の学習に役立てることを目的として実施している。詳細は下記URL参照。

<http://www.global.hosei.ac.jp/event/event-2020-16053/>

グローバル教育センターホームページ <https://www.global.hosei.ac.jp>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/hosei.university.global>

グローバル教育センター事務部

グローバル教育センター事務部には3つの課が置かれ、国際交流課と国際支援課では、海外の大学・研究機関との研究者の受け入れ・派遣、外国人留学生の受け入れ、本学学生の海外派遣、海外の大学生のためのセミナー開講、海外の大学からの交換留学生の受け入れなどを行っている。また、「スタディ・アブロード（S A）プログラムを実施する学部と連携を取りながら、渡航関係、寮やホームステイなど現地での生活に関する事柄を中心に、S Aに参加する学生をサポートしている。グローバルラーニング課では世界を舞台に活躍する人材を育成するための様々な取り組みを行っている。

■市ヶ谷キャンパス（国際交流課・国際支援課・グローバルラーニング課）

場 所	大内山校舎 2F
開室時間	[月～金] 9:00～11:30, 12:30～17:00 [土] 9:00～12:00 *都合により休室となることがある。
問合せ先	TEL : 03-3264-9315 (国際交流課) 03-3264-5475 (国際支援課) 03-3264-4088 (グローバルラーニング課)

■市ヶ谷キャンパス（Gラウンジ）

場 所	大内山校舎 2F
開室時間	[月～金] 9:00～17:00
問合せ先	TEL : 03-3264-4502

■多摩キャンパス（多摩グローバル担当）

場 所	総合棟 B1F
開室時間	[月～金] 9:00～11:30, 12:30～17:00
問合せ先	TEL : 042-783-2130

■多摩キャンパス（多摩Gラウンジ）

場 所	総合棟 B1F
開室時間	[月～金] 9:00～11:30, 12:30～17:00
問合せ先	TEL : 042-783-3018

9.「首都大学院コンソーシアム」について

首都圏の大学院間で締結された協定により、自身の所属する大学院以外の授業を聴講もしくは研究指導が受けられる制度である。協定により聴講する学生（協定聴講生）が、受け入れ先大学院において修得した単位は本研究科の修了要件単位として単位認定される（上限あり）。この制度により協定先大学院での受講を希望する者は、デザイン工学研究科担当まで申し出ること。（協定校及び詳細については大学院のホームページを参照のこと。）

10.障がい学生支援室

大学では様々な障がい（身体・発達）を持った学生が学んでいる。

障がい学生支援室は、障がいのある学生がその他の学生と同じレベルで講義を受講できるようにするための「講義保障」を中心に、学生が社会へ出るための自立をサポートし、障がい学生と支援学生の双方が成長できるコミュニティ作りを目指している。

支援室の活動は、その多くが学生ボランティア（障がい学生サポートスタッフ）によって支えられている。サポートスタッフは、ノートテイク講座など必要な講習を受けて登録し、サポートが必要な学生の講義へ派遣されている。なお、スタッフへは、活動に応じた謝礼が大学から支払われている。

【 VIII. デザイン工学研究科履修案内 】

1. 建築学専攻

(1)目標

1. 総合デザイン（Holistic Design）を理解し実践する能力
2. 歴史・文化と建築が不可分であることを理解する素養
3. 持続可能な地球と社会の実現を図るグローバルな職業倫理
4. 安心な生活・安全な構造・快適な環境を実現する専門技術力
5. 技術発展と芸術創造に関する相補的で均衡ある理解
6. 企画・設計作業に必要な高度なIT能力
7. アイデアを論理的に記述し、口頭で発表し討議する能力

(2)修士課程授業科目一覧

共通基盤科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
建築計画学概論 Introduction to Architectural Planning	1		2	
近現代デザイン概論 Introduction to Modern Form Design	1		2	
環境工学概論 Introduction to Environmental Engineering	1		2	
景観デザイン概論 Introduction to Landscape Design	1		2	
地域・都市再生概論 Introduction to Regional and Urban Renewal	1		2	
環境技術英語 Technical English Presentation	1		2	
知的財産権論 Theory of Intellectual Property Rights	1		2	
現代産業論 Analysis of Modern & Innovative Industry	1		2	
海外研修プログラム1（S C I - A r c） International Exchange Program	1		3	
海外研修プログラム2（ユタ大学） International Exchange Program	1		3	

基盤科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
設備計画概論 Introduction to Equipment Planning	1		2	
建築史概論 History of Architecture	1		2	
地震工学概論 Earthquake Engineering	1		2	
鉄筋コンクリート構造概論 Reinforced Concrete Structures	1		2	

専門科目

(キャリア3年コースの配当年次は2年から)

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
建築構造力学特論 Structural Mechanics in Architectural Engineering	1		2	
曲面構造特論 Theory of Shell Structures	1		2	
構造解析特論 Structural Analysis	1		2	
特殊環境特論 Theory of Peculiar Environments	1		2	
建築設備特論 Theory of Building Equipment	1		2	
都市解読方法特論 Method of Urban Historical Study	1		2	
建築設計特論 Architectural Design Theory	1		2	2020年度 開講なし
建築思潮特論 Theory and Design of Modern Architecture	1		2	
空間解析特論 Analysis of Spatial Images	1		2	
住宅計画特論 Housing Programs	1		2	
都市形成史特論 Theory of Urban Formation	1		2	
特別研究 Special of Research	1		2	2020年度 開講なし

専門科目（学部合併科目） ※キャリア3年コースのみ

※デザインスタジオ3・4を含む8単位以上（ただし、修了要件としての認定は15単位を上限とする）

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
建築法規（建築） Building Law	1		2	
建築材料 Architectural Materials	1		2	
施工管理 Construction management	1		2	
部材の力学 Mechanics of Structural Members	1		2	
材料の力学 Mechanics of Materials	1		2	
西洋建築史 History of Western Architecture	1		2	
近現代建築史 History of Modern Architecture	1		2	2018年度以前入学者 ※2020年度まで開講
都市建築史 Urban and Architectural History	1		2	2019年度以降入学者 ※2021年度開講
建築と文化 Architecture and Culture	1		2	2018年度以前入学者 ※2019年度まで開講
日本建築史 History of Japanese Architecture	1		2	
風土と建築 Cultural Climate and Architecture	1		2	2018年度以前入学者 ※2019年度まで開講
都市建築史スタジオ Urban and Architectural History Studio	1		3	2019年度以降入学者 ※2020年度開講
都市史 Urban History	1		2	2018年度以前入学者 ※2020年度まで開講
建築のしくみ Architectonics	1		2	
デザインスタジオ3 Architectural Design Studio 3	1		3	
デザインスタジオ4 Architectural Design Studio 4	1		3	
建築論・建築造形論 Theory of Architectural Forms	1		2	2018年度以前入学者入学者 ※2020年度まで開講
建築デザイン論1 Architectural Design Theory 1	1		2	2019年度以降入学者 ※2021年度開講
Design Basics in English	1		2	2016年度以降入学者
アーバニズム Urbanism	1		2	2018年度以前入学者 ※2020年度まで開講
文明と資源 Sustainable Natural Resource Management in Civilizations	1		2	2019年度以降入学者 ※2021年度開講
サステイナブルデザイン Design for Sustainable Buildings	1		2	
光・視環境 Lighting and Visual Environments	1		2	

2020年度以降開講予定の以下の科目を受講予定の者は予め指導教員に相談すること。

都市建築史（2021年度開講）、都市建築史スタジオ（2020年度開講）、建築デザイン論1（2021年度開講）、文明と資源（2021開講）

スタジオ科目

(キャリア3年コースの配当年次は2年～《但し「デザインスタジオ11」のみ3年》)

授業科目	配当年次	単位数		備考
		必修	選択	
デザインスタジオ8 Architectural Design Studio 8	1	スタ 6	ラボ 6	※この4科目のうち2科目選択必修
デザインスタジオ9 Architectural Design Studio 9	1	スタ 6	ラボ 6	
デザインスタジオ10 Architectural Design Studio 10	1	スタ 6	ラボ 6	
デザインスタジオ11 Architectural Design Studio 11	2	スタ 6	ラボ 6	
デザインスタジオX Architectural Design Studio X	1		2	
建築プロフェッショナル総合演習1 Practical Studies for Architectural Profession 1	1		4	
建築プロフェッショナル総合演習2 Practical Studies for Architectural Profession 2	1		4	
建築インターンシップ Architecture Internship Program	1		8	※履修登録はD期集中科目として登録して下さい。
建築構造デザイン Advanced Structural Design	1		4	
修士設計※履修登録上は「修士論文(建築)」を選択して下さい	2	0		

プロジェクト科目 ※ラボ系学生のみ必修(スタジオ系学生は選択できません。)

(キャリア3年コースの配当年次は「1」は2年、「2」は3年)

授業科目	推奨配当年次	単位数		備考
		必修	選択	
建築学修士研修1 Training of Architectural Studies for Master's Program 1	1	ラボ 2	-	
建築学修士研修2 Training of Architectural Studies for Master's Program 2	2	ラボ 2	-	
建築学修士プロジェクト1 Architectural Studies Project for Master's Program 1	1	ラボ 3	-	
建築学修士プロジェクト2 Architectural Studies Project for Master's Program 2	2	ラボ 3	-	※修士論文(建築)と合わせて履修登録して下さい。
修士論文(建築) Master's Thesis	2	0	-	

◎留学などで、推奨配当年次に履修できない場合は、指導教員に相談して下さい。

◎本学出身者で学部時代に大学院科目を履修し、なおかつ大学院の修了単位としたい場合は必ず修了認定申請を提出すること。

(3)博士後期課程授業科目一覧

専門科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
建築構造分野研究論考 Research of Structures in Architectural Engineering	1		2	
建築環境分野研究論考 Research of Architectural Environment	1		2	
建築計画分野研究論考 Research of Architectural Planning	1		2	
建築史分野研究論考 Research of Architectural History	1		2	

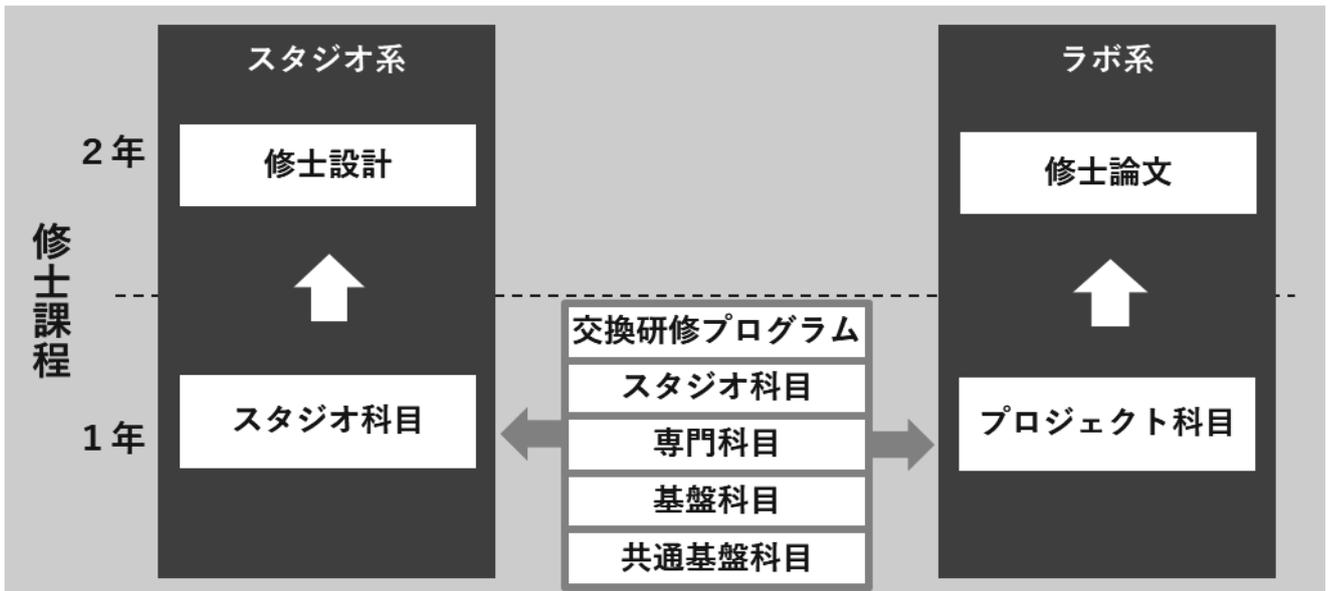
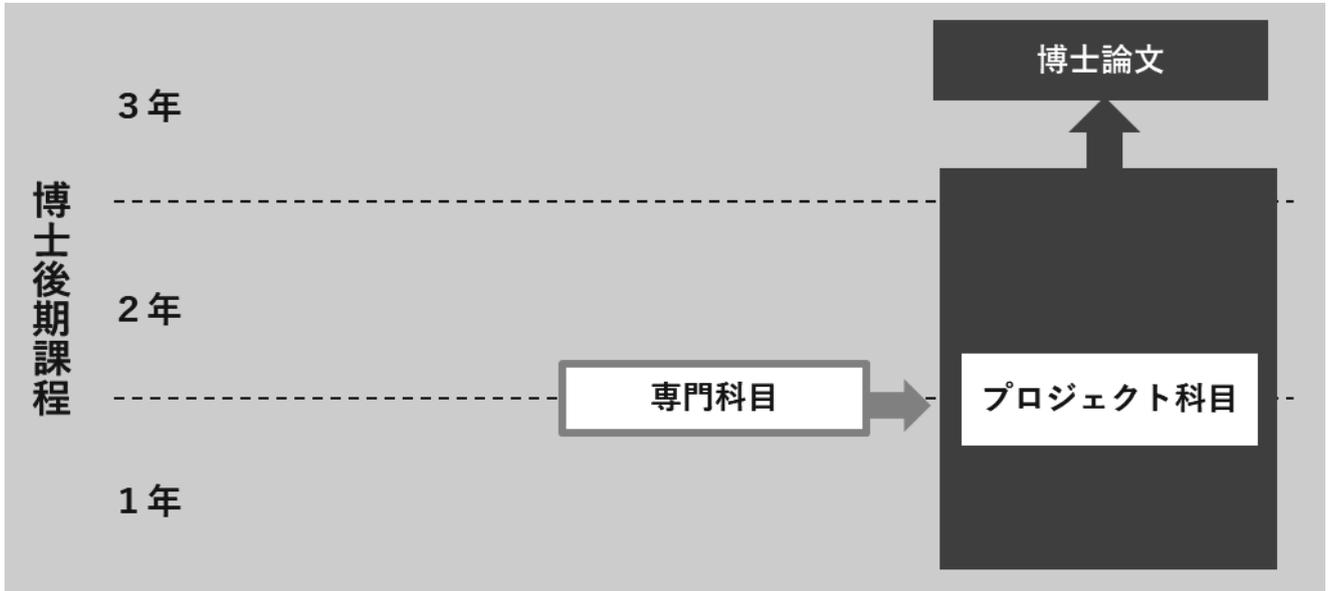
プロジェクト科目

授業科目	推奨 配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
建築学博士研修 1 Training of Architectural Studies for Doctor's Program 1	1	2		
建築学博士研修 2 Training of Architectural Studies for Doctor's Program 2	2	2		
建築学博士研修 3 Training of Architectural Studies for Doctor's Program 3	3	3		
建築学博士プロジェクト 1 Architectural Studies Project for Doctor's Program 1	1	2		
建築学博士プロジェクト 2 Architectural Studies Project for Doctor's Program 2	2	2		
建築学博士プロジェクト 3 Architectural Studies Project for Doctor's Program 3	3	3		

◎留学などで推奨配当年次に履修できない場合は、指導教員に相談して下さい。

(4)カリキュラムツリー

建築学専攻 カリキュラムツリー



(5)専任教員と専門分野 (2020年4月1日現在)

建築デザイン	赤松 佳珠子 教授	建築設計・都市計画：建築・空間デザイン研究室
	安藤 直見 教授	建築計画：建築空間研究室
	岩佐 明彦 教授	建築計画学・建築計画学研究室
	北山 恒 教授	建築設計・都市デザイン：次世代居住都市研究室
	小堀 哲夫 教授	建築設計・都市環境デザイン：建築設計・都市環境研究室
	下吹越 武人 教授	建築設計・都市環境デザイン：建築・都市空間研究室
	渡邊 眞理 教授	建築設計・アーバンデザイン：建築・都市空間研究室
建築・都市史	高村 雅彦 教授	建築史・都市史：歴史・意匠研究室
建築構造	吉田 長行 教授	建築構造：建築構造解析研究室
	浜田 英明 准教授	建築構造：建築構造計画研究室
	宮田 雄二郎 専任講師	建築構造：建築構造工学研究室
建築環境	出口 清孝 教授	建築環境：建築環境設備研究室
	川久保 俊 准教授	建築・都市環境：建築・都市環境研究室
建築構法	網野 禎昭 教授	建築構法：建築構法研究室

※各教員の専門分野・研究業績等については下記を参照してください。

法政大学学術研究データベース <http://kenkyu-web.i.hosei.ac.jp/scripts/websearch/index.htm>

※〈兼任教員〉授業の開始前または授業後に教室で質問・相談を受け付けます。

(6) <建築学専攻修士課程総合2年コース> 建築士試験にかかる大学院課程の実務経験認定

※キャリア3年コース生は対象とならないので注意すること

※入学年度によって科目名、単位数等が異なります。

建築学専攻修士課程における下表のインターンシップ及びインターンシップ関連科目は、建築士法第14条及び第15条に規定する建築実務に該当する。

①2015年度以前入学者インターンシップ及びインターンシップ関連科目

実務経験年数は単位の修得数により、下記のとおりとなります。

30単位：2年、15単位：1年とみなします。

科目分類	科目名	単位	認定できる単位数の上限
学外インターンシップ	建築インターンシップ (※修得すればカウントする)	8	8
学内インターンシップ	デザインスタジオ8 (X)	6	18
	デザインスタジオ8 (Y)	6	
	デザインスタジオ8 (Z)	6	
	デザインスタジオ9 (X)	6	
	デザインスタジオ9 (Y)	6	
	デザインスタジオ9 (Z)	6	
	デザインスタジオ10 (X)	6	
	デザインスタジオ10 (Y)	6	
	デザインスタジオ10 (Z)	6	
	デザインスタジオ11	6	
小 計：インターンシップ (学外+学内)			26
インターンシップ関連科目 (演習・実験・実習)	建築プロフェッショナル総合演習1	4	4
	建築プロフェッショナル総合演習2	4	
小 計：インターンシップ関連科目		4	4
総 計：インターンシップ及びインターンシップ関連科目		30	30

②2016 年度以降入学者インターンシップ及びインターンシップ関連科目

実務経験年数は単位の修得数により、下記のとおりとなります。

30 単位：2 年，15 単位：1 年とみなします。

科目分類	科目名	単位	認定できる単位数の上限
学外インターンシップ	建築インターンシップ (※修得すればカウントする)	8	8
学内インターンシップ	デザインスタジオ 8 (X)	6	18
	デザインスタジオ 8 (Y)	6	
	デザインスタジオ 8 (Z)	6	
	デザインスタジオ 9 (X)	6	
	デザインスタジオ 9 (Y)	6	
	デザインスタジオ 9 (Z)	6	
	デザインスタジオ 10 (X)	6	
	デザインスタジオ 10 (Y)	6	
	デザインスタジオ 10 (Z)	6	
	デザインスタジオ 11	6	
小 計：インターンシップ (学外+学内)			26
インターンシップ関連科目 (演習・実験・実習)	建築プロフェッショナル総合演習 1	4	4
	建築プロフェッショナル総合演習 2	4	
	建築構造デザイン	4	
小 計：インターンシップ関連科目			8
総 計：インターンシップ及びインターンシップ関連科目			30

(7) <建築学専攻修士課程キャリア3年コース> 建築士資格取得について
(2009年度以降入学者用)

※2018年12月14日に公布された「建築士法の一部を改正する法律」により、2020年度建築士試験より受験資格が変更となる可能性があります。詳細は公益財団法人建築技術教育普及センターのHPを参照ください。
(https://www.jaic.or.jp/other_info/2018kaisei.html)

学校種別、建築士試験別、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数

■大学(短期大学を除く。)、防衛大学校、職業能力開発総合大学校(長期課程又は応用課程の卒業者に限る。)、高等専門学校(本科+専攻科)、職業能力開発大学校(応用課程の卒業者に限る。)

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
①建築設計製図	7単位	7単位	7単位			
②建築計画	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位
③建築環境工学	2単位	2単位	2単位			
④建築設備	2単位	2単位	2単位			
⑤構造力学	4単位	4単位	4単位	6単位	6単位	6単位
⑥建築一般構造	3単位	3単位	3単位			
⑦建築材料	2単位	2単位	2単位			
⑧建築生産	2単位	2単位	2単位	1単位	1単位	1単位
⑨建築法規	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨の計(a)	30単位	30単位	30単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他(b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
(a)+(b)	60単位	50単位	40単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数	2年	3年	4年	0年	1年	2年

財団法人建築技術教育普及センターより

【重要】

一級建築士の場合

指定科目欄に記載されている、①～⑨の分野別単位数を充足し、かつ、①～⑨と⑩を合計した単位数が

40単位以上の場合、必要な実務経験年数は「4年」

50単位以上の場合、必要な実務経験年数は「3年」

60単位以上の場合、必要な実務経験年数は「2年」

となります。

上記の条件を全て満たしていないまま、修了した場合は建築士試験の受験資格は得られませんので、十分に注意して下さい。

二級・木造建築士の場合

指定科目欄に記載されている、①～⑨の分野別単位数を充足し、かつ、①～⑨と⑩を合計した単位数が

20単位以上の場合、必要な実務経験年数は「2年」

30単位以上の場合、必要な実務経験年数は「1年」

40単位以上の場合、必要な実務経験年数は「0年」

となります。

上記の条件を全て満たしていないまま、修了した場合は建築士試験の受験資格は得られませんので、十分に注意して下さい。

なお、二級・木造の場合は分野が一級に比べて、大分類化されています。

※本履修ガイド巻末に科目チェックシートがありますので、そちらを確認し履修計画を立ててください。

(8)日本技術者教育認定機構（JABEE）※ 受審プログラム

法政大学大学院デザイン工学研究科建築学専攻は、2013 年度にデザイン工学部建築学科と共に日本技術者教育認定機構（JABEE）から教育プログラムの認定を受けました。

1. 受審プログラムの区分：建築系学士修士課程 建築設計・計画系分野

2. 受審プログラムの名称：建築デザインプログラム

・本学建築学科を修了した者は、プログラムの履修を希望し、修士課程修了時に本項3の修了要件を満足していれば、建築学専攻より認定証が発行される。

・他大学から入学した者は、まずプログラム履修について一定の条件を満たす必要がある。詳しくはガイダンスおよびプログラム履修希望者面談時に確認すること。

3. 受審プログラム修了要件

・前項（2）の建築学専攻修士課程授業科目の中から30単位以上を修得していること。

・前項（6）に定めるインターンシップ及びインターンシップ関連科目の中からデザインスタジオ8～10（各6単位）の1科目以上を含む15単位以上を修得していること。

・一級建築士の受験資格要件に定められた指定科目を修めていること。

なお、JABEEが認定する修士課程における実務経験年数は前項（6）に従う。以上に関する詳細および認定証の効力についてはガイダンス時に説明する。

※JABEE(Japan Accreditation Board for Engineering Education):本機構は技術系学会と連携しながら技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府団体。

(9)修士論文賞・修士設計賞

修士課程の修了要件としてラボ系には修士論文、スタジオ系には修士設計が課され、課程の最終成果として提出される。この中から特に優れたものを選考し、これらに修士論文賞（各部門）と修士設計賞を授与する。修士設計賞受賞作品は公開発表の催しである大江賞審査会に対し出展作としてノミネートされる。詳細はガイダンス時に確認すること。

2. 都市環境デザイン工学専攻

(1)目標

1. 社会に通用する確かな「知識と見識」, ならびに国際社会の一員としての「コミュニケーション能力」を身につけること
2. 社会基盤などを設計・建設・整備する最先端の手法を習得し, われわれの生活を守るための防災技術ならびに自然生態系との調和を図りながら環境を保全する知恵をもつ技術者を養成すること
3. 指導教員の個別指導のもと, 研究や作品制作などを着実に遂行し, 論文作成や設計・制作の技術を習得することにより, 研究者あるいは高度な専門技術者として自立できる人材を育成すること

(2)修士課程授業科目一覧

共通基盤科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考 1	備考 2
		必修	選択		
建築計画学概論 Introduction to Architectural Planning	1		2		
近現代デザイン概論 Introduction to Modern Form Design	1		2		
環境工学概論 Introduction to Environmental Engineering	1		2		
景観デザイン概論 Introduction to Landscape Design	1		2		※この3科目のうち1科目以上を履修
地域・都市再生概論 Introduction to Regional and Urban renewal	1		2		
環境技術英語 Technical English Presentation	1		2		
知的財産権論 Theory of Intellectual Property Rights	1		2		
現代産業論 Analysis of Modern & Innovative Industry	1		2		
海外研修プログラム2 (ユタ大学) International Exchange Program	1		3		

基盤科目（2018年度以前入学者）

授業科目	配当 年次	単位数		備考1	備考2
		必修	選択		
都市環境デザイン工学基礎 1 Basics of Civil and Environmental Engineering 1	1	2			
都市環境デザイン工学基礎 2 Basics of Civil and Environmental Engineering 2	1		2		※この4科目のうち1科目以上を履修
災害リスクマネジメント概論 Introduction to Disaster Risk Management	1		2		
水循環システム概論 Introduction to Hydrologic Cycle System	1		2	2018年度以前入学者 ※2018年度まで開講	
材料科学概論 Introduction to Material Science	1		2		

基盤科目（2019年度以降入学者）

授業科目	配当 年次	単位数		備考1	備考2
		必修	選択		
都市環境デザイン工学基礎 1 Basics of Civil and Environmental Engineering 1	1		2		※この4科目のうち2科目以上を履修
都市環境デザイン工学基礎 2 Basics of Civil and Environmental Engineering 2	1		2		
災害リスクマネジメント概論 Introduction to Disaster Risk Management	1		2		
材料科学概論 Introduction to Material Science	1		2		

専門科目

(キャリア3年コースの配当年次は2年～)

授業科目	配当年次	単位数		備考1	備考2
		必修	選択		
都市交通マネジメント Urban Traffic Management	1		2		※この4科目のうち1科目以上を履修
空間情報デザイン Spatial Information Design	1		2		
比較都市環境デザイン Comparative Urban Environmental Design	1		2		
自然・環境デザイン Natural Environment Design	1		2		
流域水マネジメント River Basin Water Management	1		2		※この5科目(2018年度以前入学者は4科目)のうち1科目以上を履修
水域環境の保全 Conservation of Hydrospheric Environment	1		2		
応用水文学 Advanced Hydrology	1		2		
沿岸防災工学 Coastal Disaster Prevention Engineering	1		2	2019年度以降入学者 ※2019年度開講	
地盤・地下水環境保全学 Conservation of Geotechnical & Groundwater Environments	1		2	2018年度以前入学者 ※2018年度まで開講	
地震減災工学 Earthquake Disaster Mitigation Engineering	1		2	2019年度以降入学者 ※2019年度開講	
鋼構造の疲労 Fatigue of Steel Structures	1		2		※この6科目のうち1科目以上を履修
社会基盤施設の資産管理 Asset Management of Infrastructure	1		2		
鋼橋の点検・診断・対策技術 Inspection, Diagnosis & Countermeasure Techniques for Steel Bridges	1		2		
複合材料構造解析 Structural Analysis of Composite Materials	1		2		
ライフサイクルエンジニアリング Life Cycle Engineering	1		2		
耐久性力学 Durability Dynamics	1		2		

専門科目（学部合併科目）※キャリア3年コースのみ

※選択必修科目 8 単位以上を含む計 8 単位以上を履修しなければならない。ただし、修了要件としての認定は計 15 単位を上限とする。

授業科目	配当 年次	単位数		備考 1	備考 2
		必修	選択		
計画の可視化 Visualization of Planning	1		2	2018 年度以前入学者 ※2020 年度まで開講	
景観とデザイン Architecture for infrastructure and environment	1		2	2019 年度以降入学者 ※2021 年度開講	
河川環境工学 River Environmental Engineering	1		2	2020 年度休講	※ 選択必修
国土・地域概論 Land planning	1		2		
コンクリート工学 Concrete Engineering	1		2	2018 年度以前入学者 ※2019 年度まで開講	
コンクリート工学及演習 concrete engineering	1		3	2019 年度以降入学者 ※2020 年度開講	
鋼構造デザイン Design of Steel Structures	1		2	2018 年度以前入学者 ※2019 年度まで開講	
鋼構造学及演習 design exercise in steel structure	1		3	2019 年度以降入学者 ※2020 年度開講	
RC 構造デザイン Design of RC Structures	1		2	2018 年度以前入学者 ※2019 年度まで開講	※ 選択必修
RC 構造学及演習 design exercise in reinforced concrete structure	1		3	2019 年度以降入学者 ※2020 年度開講	※ 選択必修
構造力学 2 Structural Mechanics 2	1		2		
都市計画法と政策 City Planning	1		2		※ 選択必修
交通計画 Transport Planning	1		2		
地盤と環境 1 Environment and Geotechnology 1	1		2	2018 年度以前入学者 ※2019 年度まで開講	
地盤環境工学 Geoenvironmental Engineering	1		2	2019 年度以降入学者 ※2020 年度開講	
水理学 2 Hydraulics 2	1		2		
水資源工学 Water Resource Engineering	1		2		

デザインスタジオ1 (都市) Design Studio 1	1		3	2018年度以前入学者 ※2018年度まで開講	※選択必修
デザインスタジオ Design studio	1		3	2019年度以降入学者 ※2019年度開講	※選択必修
デザインスタジオ2 (都市) Design Studio 2	1		3	2018年度以前入学者 ※2019年度まで開講	※選択必修
プロジェクトスタジオ Project study	1		3	2019年度以降入学者 ※2020年度開講	※選択必修
耐震工学 Seismic Engineering	1		2		※選択必修
プロジェクトマネジメント (都市) Project Management (cnmental engineering)	1		2	2018年度以前入学者 ※2020年度まで開講	
流域水文学 Watershed Hydrology	1		2		
有限要素法基礎 Elementary Finite Element Method	1		2		
測量学 Surveying and Mapping	1		2		

スタジオ科目

(キャリア3年コースの配当年次は3年)

授業科目	配当年次	単位数		備考1	備考2
		必修	選択		
サステイナブル都市デザイン Sustainable Urban Design	2		2		※この3科目のうち1科目以上を履修
水環境デザイン Water Environment Design	2		2		
構造解析と設計 Structural Analysis and Design	2		2		

プロジェクト科目

(キャリア3年コースの配当年次は「1」「2」は2年,「3」「4」は3年)

授業科目	推奨配当 年次	単位数		備考1	備考2
		必修	選択		
都市環境デザイン工学研究 1 Studies of Civil and Environmental Engineering 1	1	2			
都市環境デザイン工学研究 2 Studies of Civil and Environmental Engineering 2	1	2			
都市環境デザイン工学研究 3 Studies of Civil and Environmental Engineering 3	2	3			
都市環境デザイン工学研究 4 Studies of Civil and Environmental Engineering 4	2	3		※修士論文(都市)と合わせて履修登録すること	
修士論文(都市) Master's Thesis	2	0	—		

◎留学などで推奨配当年次に履修できない場合は、指導教員に相談して下さい。

◎本学出身者で学部時代に大学院科目を履修し、なおかつ大学院の修了単位としたい場合は必ず修了単位認定申請を提出すること。

(3)博士後期課程授業科目一覧

専門科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考 1
		必修	選択	
都市プランニング論 Theory of Urban Planning	1		2	
環境システム論 Theory of Environmental System	1		2	
施設デザイン論 Theory of Facilities Design	1		2	

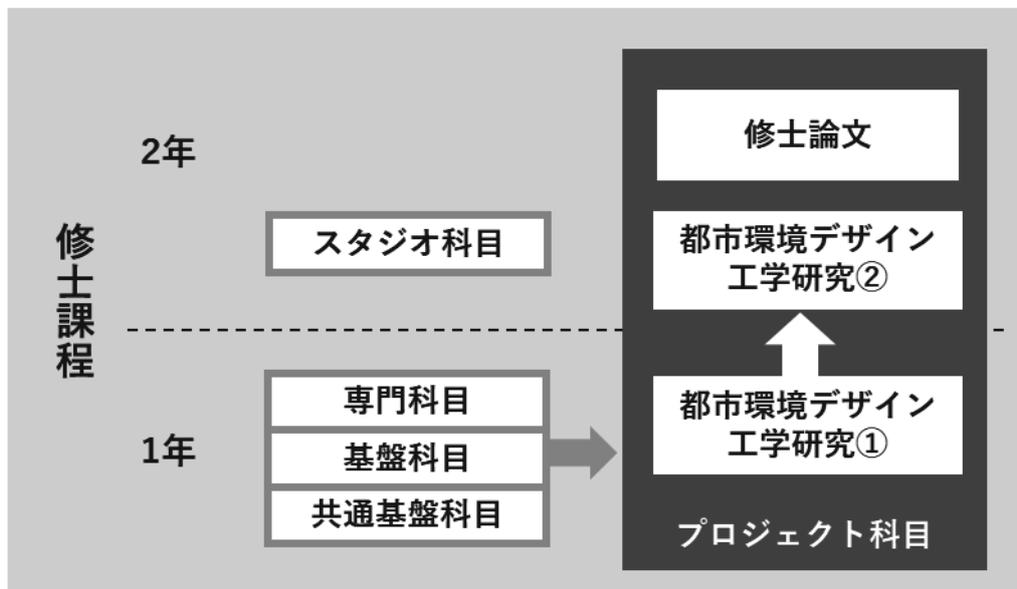
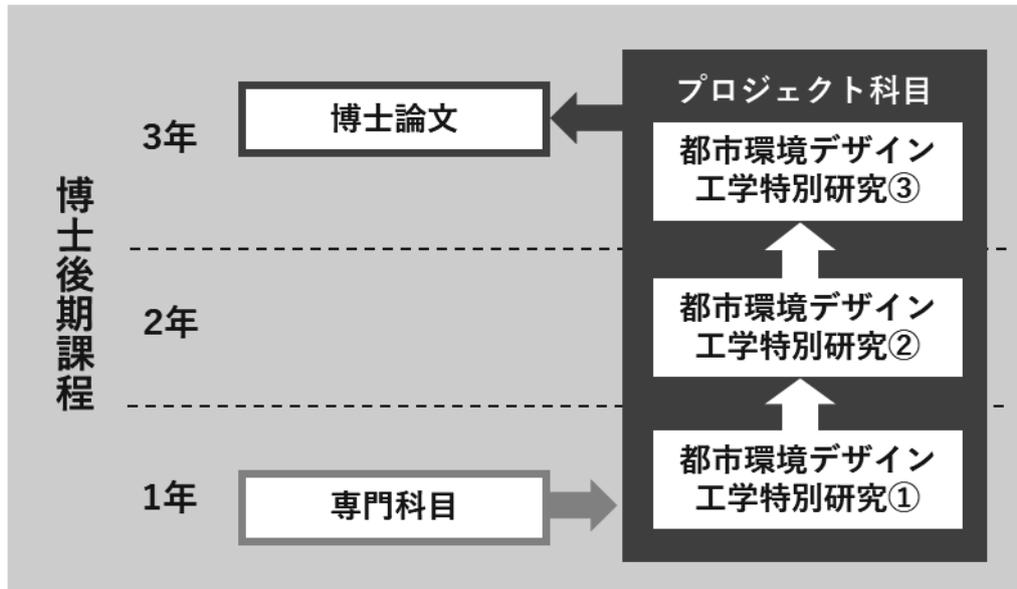
プロジェクト科目

授業科目	推奨 配当 年次	単位数		備考 1
		必修	選択	
都市環境デザイン工学特別研究 1 Advanced Studies of Civil and Environmental Engineering 1	1	2		
都市環境デザイン工学特別研究 2 Advanced Studies of Civil and Environmental Engineering 2	1	2		
都市環境デザイン工学特別研究 3 Advanced Studies of Civil and Environmental Engineering 3	2	2		
都市環境デザイン工学特別研究 4 Advanced Studies of Civil and Environmental Engineering 4	2	2		
都市環境デザイン工学特別研究 5 Advanced Studies of Civil and Environmental Engineering 5	3	3		
都市環境デザイン工学特別研究 6 Advanced Studies of Civil and Environmental Engineering 6	3	3		

◎留学などで推奨配当年次に履修できない場合は、指導教員に相談して下さい。

(4)カリキュラムツリー

都市環境デザイン工学専攻 カリキュラムツリー



(5)専任教員と専門分野（2020年4月1日現在）

都市プランニング系	高見 公雄 教授	都市設計, 都市デザイン工学
	福井 恒明 教授	景観計画, 景観設計
	今井 龍一 准教授	都市交通計画, 土木情報学
	渡邊 竜一 専任講師	構造・橋梁デザイン, コミュニケーションデザイン
環境システム系	道奥 康治 教授	陸水域環境
	酒井 久和 教授	地盤地震工学, 防災工学
	鈴木 善晴 教授	水文気象学, 水文環境学
施設デザイン系	溝渕 利明 教授	コンクリート材料学, 構造物診断技術
	内田 大介 准教授	鋼構造学, メンテナンス工学
	山本 佳士 准教授	構造工学, 計算工学

※各教員の専門分野・研究業績等については下記を参照してください。

法政大学学術研究データベース <http://kenkyu-web.i.hosei.ac.jp/scripts/websearch/index.htm>

※〈兼任教員〉授業の開始前または授業後に教室で質問・相談を受け付けます。

(6) <都市環境デザイン工学専攻修士課程キャリア 3年コース> 建築士資格取得について

建築士資格取得について
(2009年度以降入学者用)

※2018年12月14日に公布された「建築士法の一部を改正する法律」により、2020年度建築士試験より受験資格が変更となる可能性があります。詳細は公益財団法人建築技術教育普及センターのHPを参照ください。

(https://www.jaic.or.jp/other_info/2018kaisei.html)

学校種別、建築士試験別、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数

■大学(短期大学を除く。)、防衛大学校、職業能力開発総合大学校(長期課程又は応用課程の卒業者に限る。)、高等専門学校(本科+専攻科)、職業能力開発大学校(応用課程の卒業者に限る。)

指定科目	一級建築士試験			二級・木造建築士試験		
	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
①建築設計製図	7単位	7単位	7単位	5単位	5単位	5単位
②建築計画	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位	7単位
③建築環境工学	2単位	2単位	2単位			
④建築設備	2単位	2単位	2単位			
⑤構造力学	4単位	4単位	4単位	6単位	6単位	6単位
⑥建築一般構造	3単位	3単位	3単位			
⑦建築材料	2単位	2単位	2単位			
⑧建築生産	2単位	2単位	2単位	1単位	1単位	1単位
⑨建築法規	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位
①～⑨の計(a)	30単位	30単位	30単位	20単位	20単位	20単位
⑩その他(b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
(a)+(b)	60単位	50単位	40単位	40単位	30単位	20単位
必要な実務経験年数	2年	3年	4年	0年	1年	2年

財団法人建築技術教育普及センター より

【重要】

二級・木造建築士の場合

指定科目欄に記載されている、①～⑨の分野別単位数を充足し、かつ、①～⑨と⑩を合計した単位数が

20単位以上の場合、必要な実務経験年数は「2年」

30単位以上の場合、必要な実務経験年数は「1年」

40単位以上の場合、必要な実務経験年数は「0年」

となります。

上記の条件を全て満たしていないまま、修了した場合は建築士試験の受験資格は得られませんので、十分に注意して下さい。

なお、二級・木造の場合は分野が一級に比べて、大分類化されています。

※本履修ガイド巻末に科目チェックシートがありますので、そちらを確認し履修計画を立ててください。

3. システムデザイン専攻

(1)目標

1. モノづくりやシステムづくりの創生プロセスを様々な面から総合的に研究することができる高度専門技術者及び研究者の育成
2. 新しい問題を発見し、解決すべき課題として定式化し、解決策を提示できる能力を身につけた人材の育成と輩出
3. 昼夜および土曜開講制による社会に開かれた大学院

(2)修士課程授業科目一覧

共通基盤科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
建築計画学概論 Introduction to Architectural Planning	1		2	
近現代デザイン概論 Introduction to Modern Form Design	1		2	
環境工学概論 Introduction to Environmental Engineering	1		2	
景観デザイン概論 Introduction to Landscape Design	1		2	
地域・都市再生概論 Introduction to Regional and Urban Renewal	1		2	
環境技術英語 Technical English Presentation	1		2	
知的財産権論 Theory of Intellectual Property Rights	1		2	
現代産業論 Analysis of Modern & Innovative Industry	1		2	
海外研修プログラム2 (ユタ大学) International Exchange Program	1		3	

基盤科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
テクニカルライティング Technical Writing	1		2	
プレゼンテーション技法 Presentation Methods	1		2	
ヒューマンサイエンス論 Human Science	1		2	
コンピュータサイエンス論 Computer Science	1		2	
コンセプトデザイン論 Concept Design	1		2	2018年度以前入学者 ※2018年度まで開講
生態系デザイン論 Ecological System Design	1		2	
身体表現論 Theory of Kinetic Expressions	1		2	
システムデザイン特別講義 Advanced System Design	1		2	
技術英語演習 English Presentation for Design Thinking and Discussion	1		3	

専門科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
ソシオシステムデザイン論 Socio-system Design	1		2	
インダストリアルデザイン論 Industrial Design	1		2	
インタフェースデザイン論 Interface Design	1		2	
ヒューマニティデザイン論 Humanity Design Theory	1		2	
製品デザイン原論 Product Design	1		2	
マンマシンデザイン論 Man-Machine Interaction Design	1		2	
知能機械デザイン論 Intelligent Machine Design	1		2	
知能情報技術論 Intelligent Information Technology	1		2	
構造デザイン論 Structural Design	1		2	
生産システム経営論 Manufacturing System Management	1		2	休講
メカニカルデザイン論 Mechanical design	1		2	2020 年度以降入学者
プロダクションデザイン論 Production Design	1		2	
マネジメントサイエンス論 Management Science	1		2	
システム工学論 Systems Engineering	1		2	
品質マネジメント論 Quality Management	1		2	
特別研究（制御系解析） Special Seminar(Analysis of Control Systems)	1		2	休講

スタジオ科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
システムデザインワークショップ (PBL) Engineering and Design Workshop (PBL)	1		2	
マネジメントプロジェクト (PBL) Management Project (PBL)	1		2	2018年度以前入学者 ※2018年度まで開講

プロジェクト科目 (2014年度以降入学者) 入学年度によって科目名, 単位数が異なります。

授業科目	推奨 配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
システムデザイン修士研修 1 Advanced Study of Engineering and Design for Master's Program 1	1	1		
システムデザイン修士研修 2 Advanced Study of Engineering and Design for Master's Program 2	1 (2)	1		
システムデザイン修士研修 3 Advanced Engineering and Design Project for Master's Program 3	(1) 2	1		
システムデザイン修士研修 4 Advanced Engineering and Design Project for Master's Program 4	2	1		※修士論文と合わせて 履修登録する事。
システムデザイン修士プロジェクト 1 Advanced Engineering and Design Project for Master's Program 1	1	2		
システムデザイン修士プロジェクト 2 Advanced Engineering and Design Project for Master's Program 2	1 (2)	1		
システムデザイン修士プロジェクト 3 Advanced Engineering and Design Project for Master's Program 3	(1) 2	1		
システムデザイン修士プロジェクト 4 Advanced Engineering and Design Project for Master's Program 4	2	2		※修士論文と合わせて 履修登録する事。
修士論文(SD) Master's Thesis	2	0	—	

◎推奨配当年次 (1) または (2) の科目は, 留学等が理由の場合, 審査の上, 他のプロジェクト科目と同時履修が可能ですので, 事前に指導教員に相談してください。

(3)博士後期課程授業科目一覧

専門科目

授業科目	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
デザイン創生学特論 Advanced Study of Design Innovation	1		2	
知能システムデザイン特論 Advanced Study of Intelligent System Design	1		2	
シミュレーションデザイン特論 Advanced Study of Simulation Design	1		2	
システムマネジメント特論 Advanced Study of System Management	1		2	

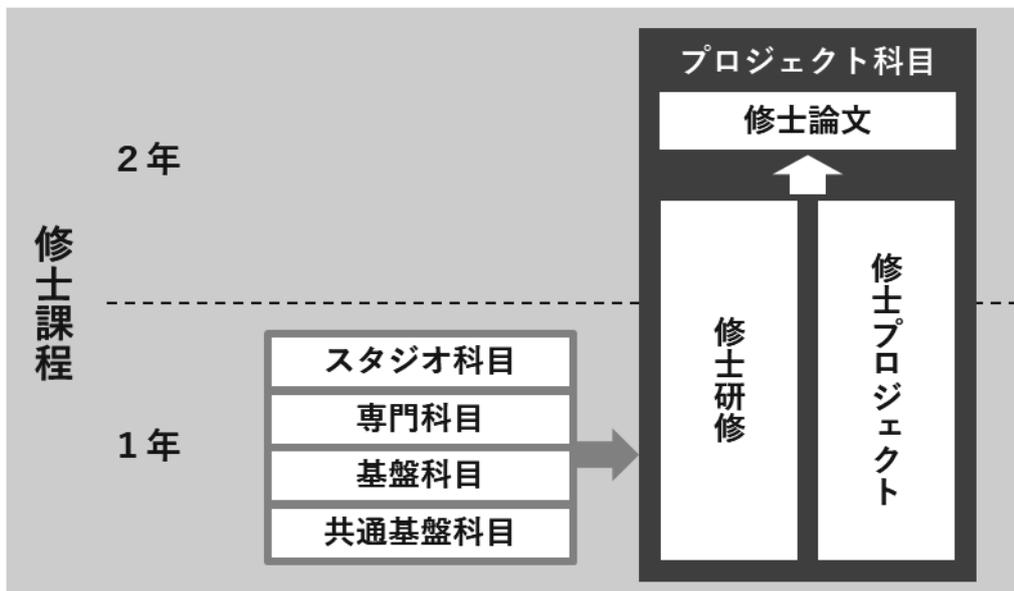
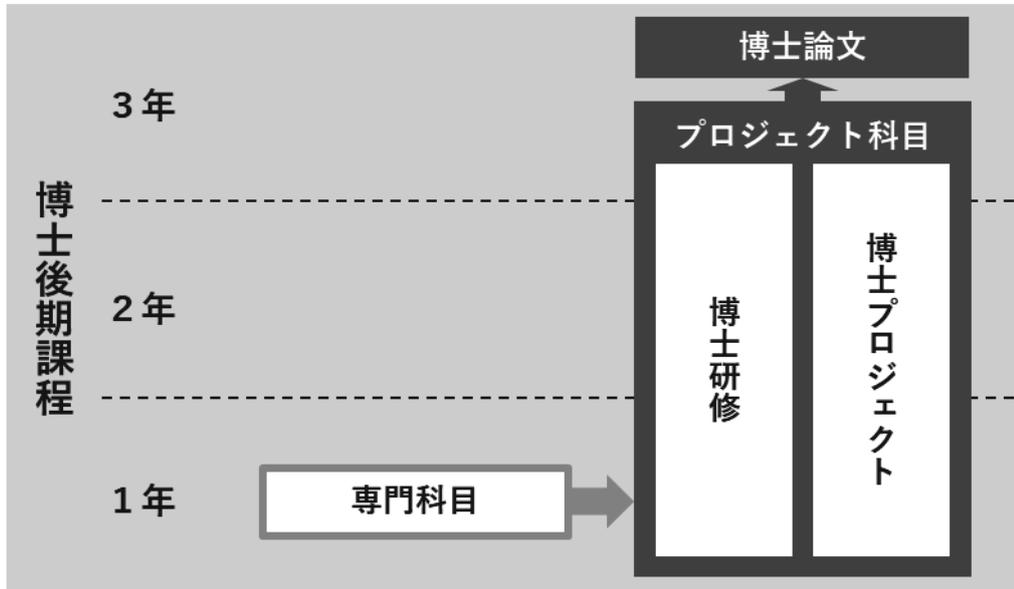
プロジェクト科目（2014年度以降入学者）入学年度によって科目名，単位数が異なります。

授業科目	推奨 配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
システムデザイン博士研修 1 Advanced Engineering and Design for Doctor's Program 1	1	1		
システムデザイン博士研修 2 Advanced Engineering and Design for Doctor's Program 2	1 (2)	1		
システムデザイン博士研修 3 Advanced Engineering and Design for Doctor's Program 3	(1) 2	1		
システムデザイン博士研修 4 Advanced Engineering and Design for Doctor's Program 4	2	1		
システムデザイン博士研修 5 Advanced Engineering and Design for Doctor's Program 5	(2) 3	1		
システムデザイン博士プロジェクト 1 Advanced Engineering and Design Project for Doctor's Program 1	1	1		
システムデザイン博士プロジェクト 2 Advanced Engineering and Design Project for Doctor's Program 2	1 (2)	1		
システムデザイン博士プロジェクト 3 Advanced Engineering and Design Project for Doctor's Program 3	(1) 2	1		
システムデザイン博士プロジェクト 4 Advanced Engineering and Design Project for Doctor's Program 4	(1) 2	1		
システムデザイン博士プロジェクト 5 Advanced Engineering and Design Project for Doctor's Program 5	(2) 3	1		
システムデザイン博士プロジェクト 6 Advanced Engineering and Design Project for Doctor's Program 6	(2) 3	1		

◎推奨配当年次（1）または（2）の科目は，留学等が理由の場合，審査の上，他のプロジェクト科目と同時履修が可能ですので，事前に指導教員に相談してください。

(4)カリキュラムツリー

システムデザイン専攻 カリキュラムツリー



(5)専任教員と専門分野（2020年4月1日現在）

クリエイション系	佐藤 康三 教授	インダストリアルデザイン
	土屋 雅人 教授	インタフェースデザイン
	安積 伸 教授	インダストリアルデザイン
テクノロジー系	小林 尚登 教授	ロボット工学, メカトロニクス
	竹内 則雄 教授	計算工学, 安全工学, 防災工学
	田中 豊 教授	メカトロニクス, ロボティクス
	岩月 正見 教授	ロボット工学, コンピュータビジョン
	山田 泰之 准教授	メカニズムデザイン
マネジメント系	西岡 靖之 教授	知識工学, 情報工学, 生産工学
	野々部 宏司 教授	オペレーションズ・リサーチ, 組合せ最適化

※各教員の専門分野・研究業績等については下記を参照してください。

法政大学学術研究データベース <http://kenkyu-web.i.hosei.ac.jp/scripts/websearch/index.htm>

※〈兼任講師〉授業の開始前または授業後に教室で質問・相談を受け付けます。

環境問題へ取り組む大学の先頭に！

本学では、環境問題解決への取り組みは 21 世紀の教育・研究課題として捉え、1999 年より「ISO14001」（環境マネジメントの仕組みづくりに関する国際規格）の認証を受けてきました。

2017 年 9 月 29 日からは、「ISO14001」で培ってきた実績を生かした本学独自の EMS（環境マネジメントシステム）へ移行して活動しています。

これからも、本学は環境問題の解決に向けて先頭に立って取り組んでいきます。

◎環境について学びましょう。

大学の最も重要な責務は、環境について学ぶ機会を、学生の皆さんそして広く社会に提供することにあります。

主な取り組みとして、「環境」をテーマにした講演会等の開催、企業等の環境改善取組を実体験を通じて深めるための「エコツアー」を企画しています。

◎キャンパスライフをグリーンに皆様のご理解とご協力をお願いします。

キャンパスライフのなかでも環境改善活動は多くあります。

(1) 省エネルギーを！

大学では、二酸化炭素の排出を伴う大量のエネルギーを消費しています。温暖化防止等のために省エネに心がけましょう。

冷房は室温 28℃、暖房は室温 20℃に設定しています。また、最後に教室を出るときは消灯しましょう。

(2) ゴミを減らそう！

大学では講義等で資料のコピー・印刷など大量の紙類を消費します。両面コピーをしたり、再生紙を利用してムダをなくしましょう。捨てる時は「ミックスペーパー」用分別ゴミ箱の中へ。

(3) ゴミ分別で再資源化を！

皆さんが住んでいる自治体と違い、大学は大規模事業者指定されており分別の方法が違います。

戸惑うかもしれませんが、大学では下記の分別基準で分別しましょう。

「燃やせるゴミ」・「燃やせないゴミ」・「ビン・カン・ペットボトル」・「ミックスペーパー」

(4) 屋上緑化活動に参加しませんか！

グリーンテラス（ボアソナードタワー4階屋上テラス）での、花の植え付けを中心とした屋上緑化活動を行っています。

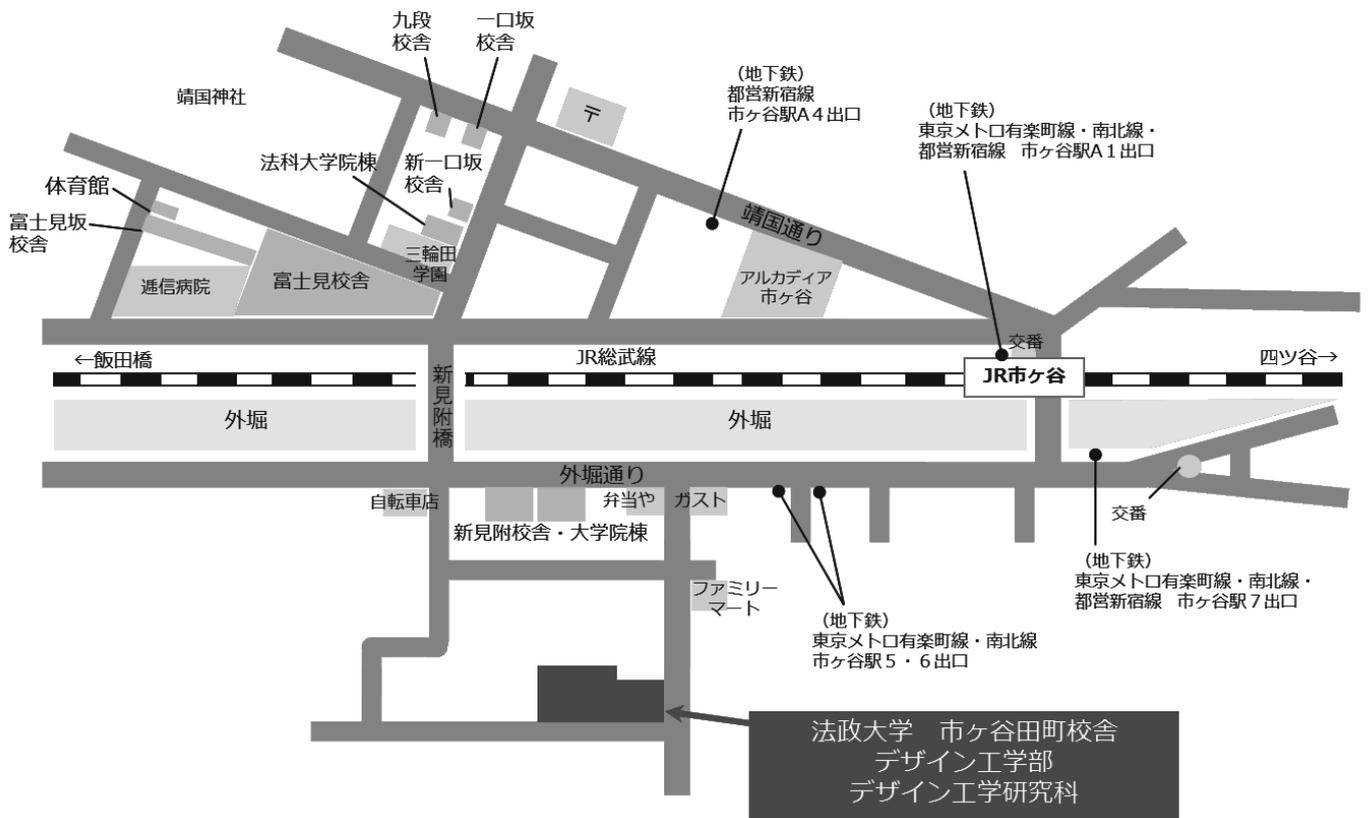
あなたも「屋上緑化維持活動」メンバーとして活動しませんか。

※参加したい人は、下記環境センターまで是非ご連絡をお願いします。

*詳細は「環境センターホームページ（<http://www.hosei.ac.jp/kankyokenshou/index.html>）」をご覧ください。

問い合わせ先：環境センター TEL：03-3264-5681
FAX：03-3264-5545
Mail：ickankyo@hosei.ac.jp

市ヶ谷キャンパス 案内図



市ヶ谷田町校舎 案内図

教室設備ガイド URL : <http://www.hoseiyoiku.jp/facilities/>

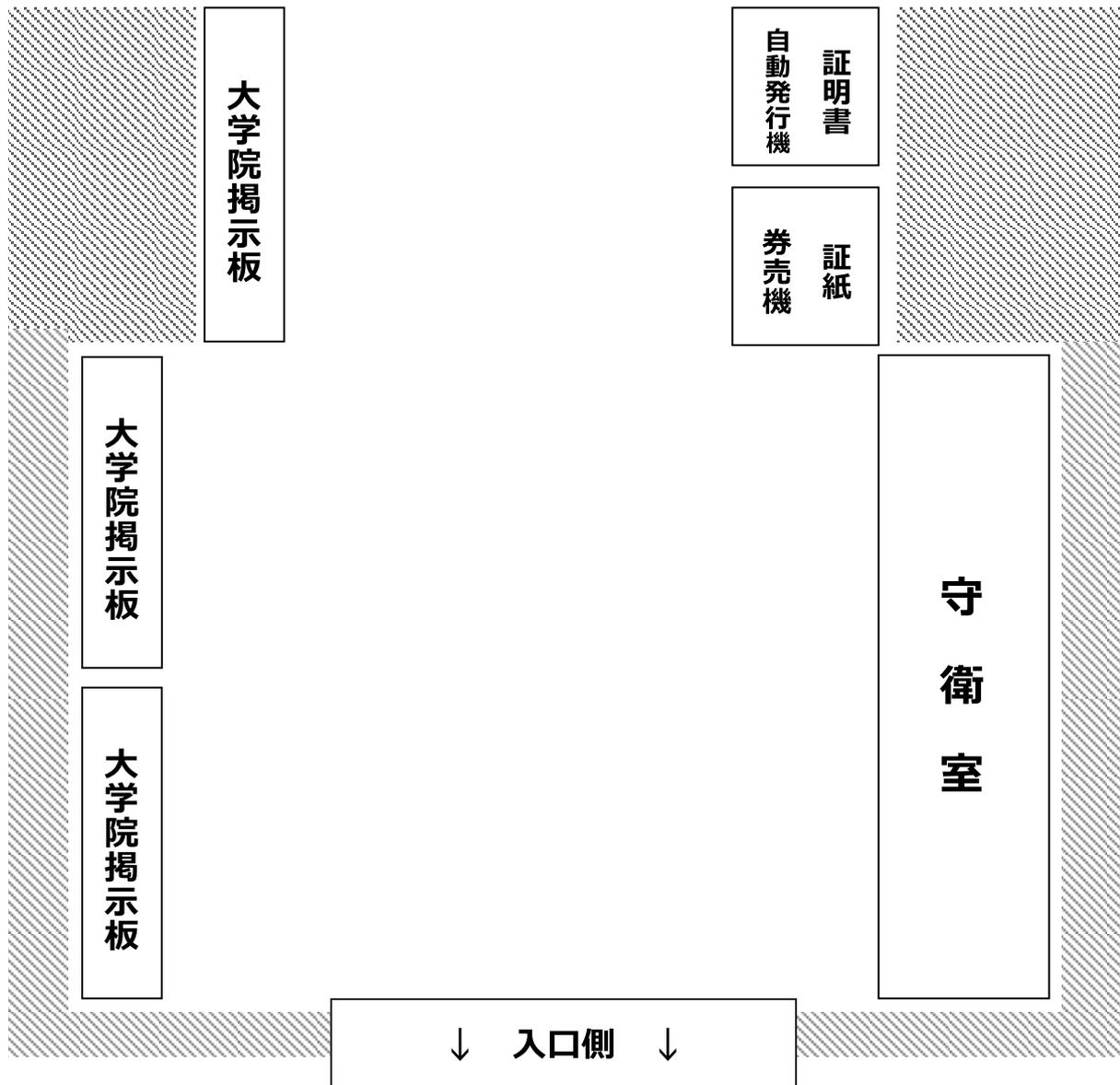
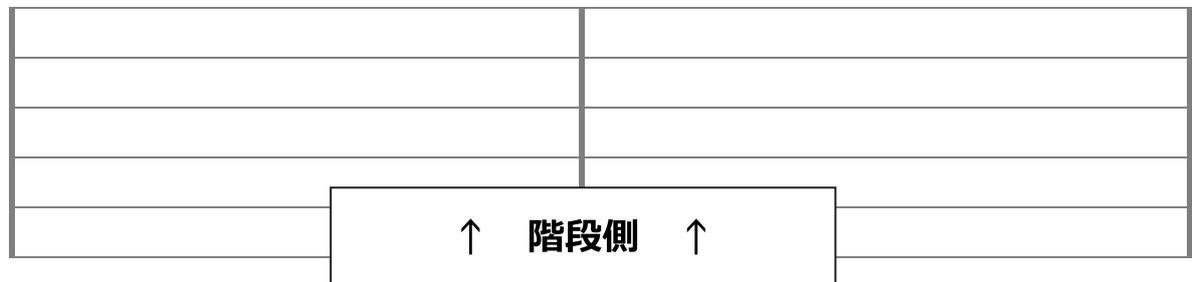


本館

別館

掲示板位置案内図

【 市ヶ谷田町校舎 2F 入り口付近案内図 】



建築学専攻キャリア3年コース 建築士指定科目一覧（2014年度以降入学者用）

適宜自身の科目取得のチェックシートとしてご使用ください。

入学年度によって一部科目で科目名・単位数が異なります。ご注意ください。

※指定科目に申請予定の科目となります。
 審査結果により指定科目とならない場合がございます。
 予めご承知の上履修計画を立ててください。

指定科目の分類			現在の指定科目				
二級・木造	一級	分類番号	科目名	※	履修学年	単位数	チェック欄
①建築設計製図	①建築設計製図	①	デザインスタジオ1（建築）（建築学科科目）		1	3	
		①	デザインスタジオ2（建築）（建築学科科目）		1	3	
		①	デザインスタジオ3（学部合併科目）		1	3	
		①	デザインスタジオ4（学部合併科目）		1	3	
		①	デザインスタジオ5（建築学科科目）		1～3	3	
		①	デザインスタジオ6（建築学科科目）		1～3	3	
		①	建築設備総合デザイン（建築学科科目） （2018年度以前入学生）		1～3	3	
		①	環境デザインスタジオ（建築学科科目） （2019年度以降入学生）	※	1～3	3	
		①	デザインスタジオ8（X）		2・3	6	
		①	デザインスタジオ8（Y）		2・3	6	
		①	デザインスタジオ8（Z）		2・3	6	
		①	デザインスタジオ9（X）		2・3	6	
		①	デザインスタジオ9（Y）		2・3	6	
		①	デザインスタジオ9（Z）		2・3	6	
		①	デザインスタジオ10（X）		2・3	6	
		①	デザインスタジオ10（Y）		2・3	6	
		①	デザインスタジオ10（Z）		2・3	6	
		①	構法スタジオ（建築学科科目） （2018年度以前入学生）		1～3	3	
		①	構法スタジオ1（建築学科科目） （2019年度以降入学生）		1～3	2	
		①	構法スタジオ2（建築学科科目） （2019年度以降入学生）		1～3	2	
①	エンジニアリングスタジオ（建築学科科目） （2019年度以降入学生）	※	1～3	3			
二級・木造①：実務0～2年→5単位以上 実務3～5年→3単位以上 一級①：7単位以上						小計	
②建築計画 ③建築環境工学 ④建築設備	②建築計画	②	建築計画1（建築学科科目）		1～3	2	
		②	建築計画2（建築学科科目）		1～3	2	
		②	デザイン理論（建築）（建築学科科目）		1～3	2	
		②	建築のデザイン（学部合併科目） （2015年度以前入学生）		1	2	
		②	Design Basics in English（学部合併科目） （2016年度以降入学生）		1	2	
		②	建築と文化（学部合併科目） （2018年度以前入学生）		1	2	
		②	アーバンイズム（学部合併科目） （2018年度以前入学生）		1	2	
		②	風土と建築（学部合併科目） （2018年度以前入学生）		1	2	
		②	都市建築史スタジオ（学部合併科目） （2019年度以降入学生）		1	3	
		②	西洋建築史（学部合併科目）		1	2	
		②	近現代建築史（学部合併科目） （2018年度以前入学生）		1	2	
		②	都市建築史（学部合併科目） （2019年度以降入学生）	※	1	2	
		②	日本建築史（学部合併科目）		1	2	
		②	都市史（学部合併科目） （2018年度以前入学生）		1	2	
		②	日本建築史実習（建築学科科目） （2019年度以降入学生）	※	1	1	
		②	近現代デザイン概論		1・2	2	
		②	建築の空間と形態（建築学科科目）		1	2	
一級②：7単位以上						小計	

③建築環境工学	③	建築生理心理2 (建築学科科目)		1・2	2			
		建築気候 (建築学科科目)		1・2	2			
		光・視環境 (学部合併科目)		1	2			
		音・振動環境 (建築学科科目)		1～3	2			
		環境工学概論		1・2	2			
	一級③：2単位以上					小計		
	④建築設備	④	設備デザイン基礎 (建築学科科目)		1・2	3		
			空気調和設備 (建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1・2	2		
			給排水・電気設備 (建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1・2	2		
			設備入門 (建築学科科目) (2019年度以降入学生)		1・2	2		
設備計画概論				1・2	2			
建築設備特論				2・3	2			
一級④：2単位以上					小計			
二級・木造②③④：実務0～2年→7単位以上 実務3～5年→2単位以上					小計			
⑤構造力学 ⑥建築一般構造 ⑦建築材料	⑤	材料の力学 (学部合併科目)		1	2			
		部材の力学 (学部合併科目)		1	2			
		骨組の力学 (建築学科科目)		1・2	2			
		平面の力学 (建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1・2	2			
		構造とマトリクス (建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1～3	2			
		建物の耐力 (建築学科科目)		1～3	2			
		構造実験 (建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1～3	2			
		建築構造力学特論		2・3	2			
		曲面構造特論		2・3	2			
		構造解析特論		2・3	2			
		ビルディングワークショップ (建築学科科目) (2019年度以降入学生)	※	1～3	3			
		一級⑤：4単位以上					小計	
		⑥建築一般構造	⑥	建築のしくみ (学部合併科目)		1	2	
鉄筋コンクリートのデザイン (建築学科科目)				1～3	2			
鋼のデザイン (建築学科科目)				1～3	2			
木造建築の構法 (建築学科科目) (2018年度以前入学生)				1～3	2			
構造デザインの実践 (建築学科科目) (2018年度以前入学生)				1～3	2			
空間の構造デザイン (建築学科科目)				1～3	2			
建物の振動と耐震化 (建築学科科目)				1～3	2			
建築の地盤力学 (建築学科科目)				1～3	2			
地震工学概論				1・2	2			
一級⑥：3単位以上					小計			
⑦建築材料	⑦	建築材料 (学部合併科目)		1～3	2			
		材料特性実験 (建築学科科目)		1～3	2			
		材料のデザイン (建築学科科目)		1～3	2			
一級⑦：2単位以上					小計			
二級・木造⑤⑥⑦：実務0～2年→6単位以上 実務3～5年→3単位以上					小計			
⑧建築生産	⑧	建築生産 (建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1～3	2			
		施工管理 (学部合併科目)		1～3	2			
		木造建築の構法 (建築学科科目) (2019年度以降入学生)		1～3	2			
二級・木造⑧：1単位以上 一級⑧：2単位以上					小計			
⑨建築法規	⑨	建築法規 (建築) (学部合併科目)		1～3	2			
二級・木造⑨：1単位以上 一級⑨：2単位以上					小計			
⑩その他	⑩	造形スタジオ (建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1	3			
		図形の技術 (建築学科科目)		1	2			
		建築入門(建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1	2			
		デジタルスタジオ (建築学科科目)		1・2	3			
		フィールドワーク (建築) (建築学科科目)		1・2	3			
		建築論・建築造形論 (学部合併科目) (2018年度以前入学生)		1	2			
		建築デザイン論1(学部合併科目) (2019年度以降入学生)	※	1	2			
		建築の測量実習 (建築学科科目) (2018年度以前入学生)		1～3	3			
		構造計算プログラミング1 (建築学科科目)		1～3	2			
		構造計算プログラミング (建築学科科目)		1～3	2			

	⑩	環境生態学（建築学科科目） （2018年度以前入学生）		1～3	2		
	⑩	建築生理心理1（建築学科科目）		1～3	2		
	⑩	サステイナブルデザイン（学部合併科目）		1	2		
	⑩	建築史概論		1・2	2		
	⑩	特殊環境特論		2・3	2		
	⑩	都市解説方法特論		2・3	2		
	⑩	建築設計特論		2・3	2		
	⑩	空間解析特論		2・3	2		
	⑩	都市計画（建築学科科目） （2018年度以前入学生）		1～3	2		
	⑩	建築デザイン論2（学部合併科目） （2019年度以降入学生）	※	1	2		
二級・木造⑩：適宜					一級⑩：適宜		小計

①～⑨の単位数合計	
総単位数(①～⑩の単位数合計)	

都市環境デザイン工学専攻キャリア3年コース 建築士指定科目一覧 (2014年度以降入学者用)

適宜自身の科目取得のチェックシートとしてご使用ください。

入学年度によって一部科目で科目名・単位数が異なります。ご注意ください。

※指定科目に申請予定の科目となります。
 審査結果により指定科目とならない場合がございます。
 予めご承知の上履修計画を立ててください。

指定科目の分類		指定科目				
二級・木造	分類番号	科目名	※	履修学年	単位数	チェック欄
①建築設計製図	①	デザインスタジオ2 (都市) (学部合併科目) (2018年度以前入学生)		1	3	
	①	プロジェクトスタジオ (学部合併科目) (2019年度以降入学生)		1	3	
	①	建築設計基礎 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	3	
実務0~2年→5単位以上 実務3~5年→3単位以上					小計	
②建築計画	②	タウンマネジメント (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
③建築環境工学	②	街づくり (都市環境デザイン工学科科目) (2018年度以前入学生)		1~3	2	
④建築設備	②	街づくりとデザイン (都市環境デザイン工学科科目) (2019年度以降入学生)	※	1~3	2	
	②	建築と文化 (都市環境デザイン工学科科目) (2018年度以前入学生)		1~3	2	
	②	風土と建築 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
	②	近現代デザイン概論		1	2	
	②	建築の空間と形態(都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
	③	環境工学概論		1	2	
実務0~2年→7単位以上 実務3~5年→2単位以上					小計	
⑤構造力学	⑤	工業力学及演習 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	3	
⑥建築一般構造	⑤	構造力学1及演習 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	3	
⑦建築材料	⑤	構造力学2 (学部合併科目)		1	2	
	⑥	鋼構造デザイン (学部合併科目) (2018年度以前入学生)		1	2	
	⑥	鋼構造学及演習 (学部合併科目) (2019年度以降入学生)		1	3	
	⑥	P C構造デザイン (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
	⑥	R C構造デザイン (学部合併科目) (2018年度以前入学生)		1	2	
	⑥	R C構造学及演習 (学部合併科目) (2019年度以降入学生)		1	3	
	⑥	鋼構造デザイン実習 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	1	
	⑥	R C構造デザイン実習 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	1	
	⑥	鋼構造の疲労		2	2	
	⑥	複合材料構造解析		2	2	
	⑥	構造解析と設計		3	2	
⑦	建設材料学基礎 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2		

実務0~2年→6単位以上	⑦	コンクリート工学 (学部合併科目) (2018年度以前入学生)		1	2	
	⑦	コンクリート工学及演習 (学部合併科目) (2019年度以降入学生)		1	3	
	⑦	材料科学概論		1	2	
実務3~5年→3単位以上					小計	
⑧建築生産	⑧	検査技術 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
	⑧	コンクリート技術 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
	⑧	ライフサイクルエンジニアリング		2	2	
1単位以上					小計	
⑨建築法規	⑨	建築法規(都市) (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
1単位以上					小計	
⑩その他	⑩	測量実習 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	1	
	⑩	デザインスタジオ1(都市) (学部合併科目) (2018年度以前入学者)		1	3	
	⑩	デザインスタジオ (学部合併科目) (2019年度以降入学者)		1	3	
	⑩	ランドスケープデザイン (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
	⑩	技術者倫理 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
	⑩	図学及演習 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	3	
	⑩	都市デザイン (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	2	
	⑩	国土・地域概論 (学部合併科目)		1	2	
	⑩	都市計画法と政策 (学部合併科目)		1	2	
	⑩	公共空間デザイン及演習 (都市環境デザイン工学科科目)		1~3	3	
	⑩	景観デザイン概論		1	2	
	⑩	比較都市環境デザイン		2	2	
	⑩	耐久性力学		2	2	
適宜取得					小計	

①~⑨の単位数合計	
総単位数(①~⑩の単位数合計)	

2020年度 法政大学デザイン工学研究科 オフィスアワー一覧

※下記の表に記載されていない教員は、学内に研究室を持っていないため、授業の開始前後に教室または4階の講師室で質問・相談を受け付けます。

学科	教員氏名	場所	オフィスアワー								メールアドレス
			A期		B期		C期		D期		
			曜日	時間	曜日	時間	曜日	時間	曜日	時間	
建築	赤松 佳珠子 教授	T3007	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	k.akamatsu@hosei.ac.jp
	網野 禎昭 教授	T3006	火	13:00~14:30	火	13:00~14:30	火	13:00~14:30	火	13:00~14:30	amino@hosei.ac.jp
	安藤 直見 教授	T3010	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	nando@hosei.ac.jp
	岩佐 明彦 教授	T3005	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	iwasa@hosei.ac.jp
	川久保 俊 准教授	T3012	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	kawakubo@hosei.ac.jp
	北山 恒 教授	T2011	月	15:00~16:40	月	15:00~16:40	月	15:00~16:40	月	15:00~16:40	koh.kitayama.39@hosei.ac.jp
	小堀 哲夫 教授	T1004	月	12:30~13:00	月	12:30~13:00	月	12:30~13:00	月	12:30~13:00	tetsuo.kobori@hosei.ac.jp
	下吹越 武人 教授	T3008	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	t-shimohigoshi@hosei.ac.jp
	高村 雅彦 教授	T3001	水	12:20~13:00	水	12:20~13:00	水	12:20~13:00	水	12:20~13:00	takamura@hosei.ac.jp
	出口 清孝 教授	T3011	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	kdeg@hosei.ac.jp
	浜田 英明 准教授	T3009	水	12:20~13:00	水	12:20~13:00	月	12:20~13:00	月	12:20~13:00	h.hamada@hosei.ac.jp
	宮田 雄二郎 専任講師	T3002	月	12:20~13:00	月	12:20~13:00	月	12:20~13:00	月	12:20~13:00	yujiro.miyata.48@hosei.ac.jp
	吉田 長行 教授	T3004	金	12:25~12:55	金	12:25~12:55	金	12:25~12:55	金	12:25~12:55	nyoshida@hosei.ac.jp
	渡邊 眞理 教授	T3003	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	msw@hosei.ac.jp
都市	今井 龍一 准教授	T2007	火	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	木	12:20~13:00	ryuichi.imai.73@hosei.ac.jp
	内田 大介 准教授	T2010	火	13:30~14:30	火	13:30~14:30	火	13:30~14:30	火	13:30~14:30	daisuke.uchida.53@hosei.ac.jp
	酒井 久和 教授	T2003	月	13:00~14:30	月	13:00~14:30	月	13:00~14:30	月	13:00~14:30	hisakai@hosei.ac.jp
	鈴木 善晴 教授	T2001	金	13:00~14:30	金	13:00~14:30	金	13:00~14:30	金	13:00~14:30	y-suzuki@hosei.ac.jp
	高見 公雄 教授	T2002	火	14:00~15:00	火	14:00~15:00	火	14:00~15:00	火	11:00~12:00	takami@hosei.ac.jp
	福井 恒明 教授	T2006	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	fukui@hosei.ac.jp
	溝淵 利明 教授	T2009	月	17:30~18:30	木	18:30~19:30	金	17:30~18:30	金	17:30~18:30	mizobuch@hosei.ac.jp
	道奥 康治 教授	T2008	木	13:30~15:30	木	13:30~15:30	水	13:30~15:30	水	13:30~15:30	kohji.michioku.47@hosei.ac.jp
	山本 佳士 准教授	T2004	火	12:20~13:00	火	12:20~13:00	月	12:20~13:00	月	12:20~13:00	y.yamamoto@hosei.ac.jp
	渡邊 竜一 専任講師	T2005	火	12:45~13:15	水	12:45~13:15	木	12:45~13:15	月	12:45~13:15	ryuichi.watanabe.75@hosei.ac.jp
SD	安積 伸 教授	T1012	火	10:40~12:20	火	10:40~12:20	火	10:40~12:20	火	10:40~12:20	saz@hosei.ac.jp
	岩月 正見 教授	T1011	金	16:50~18:30	金	16:50~18:30	金	16:50~18:30	金	16:50~18:30	iwatsuki@hosei.ac.jp
	小林 尚登 教授	T1001	水	13:00~14:30	水	13:00~14:30	月	16:50~18:30	月	16:50~18:30	h@hosei.ac.jp
	佐藤 康三 教授	T1005	水	10:40~12:20	火	10:40~12:20	月	10:40~12:20	月	10:40~12:20	kozo@k.hosei.ac.jp
	竹内 則雄 教授	T1007	火	10:40~12:20	火	10:40~12:20	月	10:40~12:20	金	10:40~12:20	takeuchi@hosei.ac.jp
	田中 豊 教授	T1002	火	10:40~12:20	火	10:40~12:20	火	13:00~14:40	火	15:00~16:40	y_tanaka@hosei.ac.jp
	土屋 雅人 教授	T1006	火	13:00~14:40	火	13:00~14:40	火	13:00~14:40	火	13:00~14:40	tsuchiya@hosei.ac.jp
	西岡 靖之 教授	T1010	水	10:40~12:20	水	10:40~12:20	火	16:50~18:30	火	16:50~18:30	nishioka@hosei.ac.jp
	野々部 宏司 教授	T1008	金	13:30~14:45	金	13:30~14:45	金	13:30~14:45	金	13:30~14:45	nonobe@hosei.ac.jp
	山田 泰之 准教授	T1003	月	10:40~12:20	水	10:40~12:20	水	10:40~12:20	水	10:40~12:20	y.yamada@hosei.ac.jp

法政大学市ヶ谷田町校舎デザイン工学研究科担当

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-33

Academic Affairs Section, School Administration Department
Graduate School of Engineering and Design, Hosei University
2-33, Ichigayatamachi, Shinjuku-ku, Tokyo 162-0843, Japan